

教育研究活動の状況

(平成 26 年度)

奈良学園大学

1. 大学の教育研究上の目的に関すること

学部	学科	教育研究上の目的
人間教育学部	人間教育学科	「社会の中で一人の人間」として生き抜く力となる豊かな「人間力」を基盤とする、柔軟な「教育力」と高度な「実践力」を備えた「教育者」（広く社会の教育活動にかかわる人材）の養成を目的とする。
保健医療学部	看護学科	幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力などをそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者の育成を目的とする。
ビジネス学部	ビジネス学科	社会で生き抜く力・人格の養成を目指し、経済・経営・法律の3分野にまたがる幅広い知識を教授するとともに、これを社会で活用できる人材の育成を目的とする。
情報学部	情報学科	情報化社会の進展に主体的に取り組むことのできる人材を養成することを目的とする。

*ビジネス学部、情報学部の2学部は平成26(2014)年4月から募集停止

2. 教育研究上の基本組織に関すること

平成26年5月1日現在

単位:(人)

学部・学科		専任教員数				
		教授	准教授	講師	助教	計
人間教育学部	人間教育学科	8	6	6	1	21
保健医療学部	看護学科	7	5	5	5	22
ビジネス学部	ビジネス学科	18	10	2	—	30
情報学部	情報学科	11	5	3	—	19
合計		44	26	16	6	92

*ビジネス学部、情報学部の2学部は平成26(2014)年4月から募集停止

3. 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

<教員数> 平成26年5月1日現在

	人間教育学部	保健医療学部	ビジネス学部	情報学部	合計
専任教員数	21人	22人	30人	19人	92人

*ビジネス学部、情報学部の2学部は平成26(2014)年4月から募集停止

<教員の保有学位及び業績>平成26年5月1日現在

人間教育学部	博士6名、修士12名、学士3名
保健医療学部	博士6名、修士15名、学士1名
ビジネス学部	博士8名、修士21名、学士1名
情報学部	博士7名、修士6名、学士6名
*ビジネス学部、情報学部の2学部は平成26(2014)年4月から募集停止	
※教育研究業績書は別紙	

＜教員の男女別構成＞ 平成26年5月1日現在

【人間教育学部】

学部	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	計
人間教育学部	教授 (人)	1	1	2	4	0	0	0	0	0	8
	(%)	12.5%	12.5%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	准教授 (人)	0	2	1	0	1	0	2	0	0	6
	(%)	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	講師 (人)	0	0	1	0	0	0	1	2	2	6
	(%)	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	100.0%
	助教 (人)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
計 (人)		1	3	4	4	1	0	3	3	2	21
計 (%)		4.8%	14.3%	19.0%	19.0%	4.8%	0.0%	14.3%	14.3%	9.5%	100.0%

【保健医療学部】

学部	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	計
保健医療学部	教授 (人)	0	1	3	0	3	0	0	0	0	7
	(%)	0.0%	14.3%	42.9%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	准教授 (人)	0	0	0	1	3	1	0	0	0	5
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	講師 (人)	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	助教 (人)	0	0	1	0	0	1	1	1	1	5
	(%)	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
計 (人)		0	1	4	1	6	7	1	1	1	22
計 (%)		0.0%	4.5%	18.2%	4.5%	27.3%	31.8%	4.5%	4.5%	4.5%	100.0%

【ビジネス学部】

学部	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	計
ビジネス学部	教授 (人)	0	5	6	2	3	2	0	0	0	18
	(%)	0.0%	27.8%	33.3%	11.1%	16.7%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	准教授 (人)	0	0	1	0	0	2	5	2	0	10
	(%)	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	50.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	講師 (人)	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
	助教 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
計 (人)		0	5	7	2	3	4	6	3	0	30
計 (%)		0.0%	16.7%	23.3%	6.7%	10.0%	13.3%	20.0%	10.0%	0.0%	100.0%

【情報学部】

学部	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	計
情報学部	教授 (人)	0	4	0	3	2	1	1	0	0	11
	(%)	0.0%	36.4%	0.0%	27.3%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	准教授 (人)	0	0	1	0	2	0	1	1	0	5
	(%)	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	講師 (人)	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	助教 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
計 (人)		0	4	1	3	4	1	5	1	0	19
計 (%)		0.0%	21.1%	5.3%	15.8%	21.1%	5.3%	26.3%	5.3%	0.0%	100.0%

*ビジネス学部、情報学部の2学部は平成26(2014)年4月から募集停止

＜教員の年齢構成＞ 平成26年5月1日現在

【人間教育学部】

学部	職位	男性		女性		計		外国人 (内数)
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
人間教育学部	教授	6	75.0%	2	25.0%	8	100.0%	—
	准教授	3	50.0%	3	50.0%	6	100.0%	—
	講師	3	50.0%	3	50.0%	6	100.0%	—
	助教	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%	—
人間教育学部 計		12	57.1%	9	42.9%	21	100.0%	—

【保健医療学部】

学部	職位	男性		女性		計		外国人 (内数)
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
保健医療学部	教授	2	28.6%	5	71.4%	7	100.0%	—
	准教授	1	20.0%	4	80.0%	5	100.0%	—
	講師	0	0.0%	5	100.0%	5	100.0%	—
	助教	0	0.0%	5	100.0%	5	100.0%	—
保健医療学部 計		3	13.6%	19	86.4%	22	100.0%	—

【ビジネス学部】

研究所	職位	男性		女性		計		外国人 (内数)
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
ビジネス学部	教授	16	88.9%	2	11.1%	18	100.0%	—
	准教授	8	80.0%	2	20.0%	10	100.0%	—
	講師	2	100.0%	0	0.0%	2	100.0%	—
	助教	0	0.0%	0	0.0%	0	100.0%	—
ビジネス学部 計		26	86.7%	4	13.3%	30	100.0%	—

【情報学部】

学部	職位	男性		女性		計		外国人 (内数)
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
情報学部	教授	9	81.8%	2	18.2%	11	100.0%	—
	准教授	4	80.0%	1	20.0%	5	100.0%	—
	講師	3	100.0%	0	0.0%	3	100.0%	—
	助教	0	0.0%	0	0.0%	0	100.0%	—
情報学部 計		16	84.2%	3	15.8%	19	100.0%	—

*ビジネス学部、情報学部の2学部は平成26(2014)年4月から募集停止

4. 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

大学等	学部・研究科等	入学者数	収容定員	在学者数	卒業者数	進学者数
奈良学園大学	人間教育学部	【入学に関する基本的な方針】 (1) 教職への意欲や関心があり、教育を通して社会の未来に貢献する意欲のある人 (2) 教育の専門家としての確かな力量を獲得するため、積極的に学び続ける意欲のある人 (3) 豊かな人間性や社会性、常識と教養をはじめ協調性や創造性を深める意欲がある人				
		111人	480人	111人	—	—
	保健医療学部	【入学に関する基本的な方針】 (1) 人と自然を愛する心を持ち、看護職に興味・関心のある人。また、確かな基礎的学力を有し、看護職者に必要な知識・技術を積極的に学び、地域社会、国際社会に貢献する意欲のある人				
		88人	320人	88人	—	—
	ビジネス学部	—	—	275人	83人	2人
	情報学部	—	—	104人	44人	2人
【就職者数及び卒業後の進路（主な就職分野〔具体的な就職先等〕）】 就職者数：78人 【主な就職分野】 サービス、製造、小売・卸売、建設、情報通信、運輸、公務、金融（信用組合）、不動産、教育 【主な就職先】 日亜鋼業株式会社、総合警備保障株式会社、株式会社あさひ、西濃運輸株式会社、品川工業所株式会社、三洋工業株式会社、日産プリンス奈良販売株式会社、ホンダオート大阪株式会社、のぞみ信用組合、アンドール株式会社、ヨシハラ産業株式会社、株式会社丸国林業、株式会社ナカガワ、奈良県警察本部、大阪府警察本部 等						

*編入学定員を設けていないが、若干名の受け入れを行っている

*ビジネス学部、情報学部の2学部は平成26(2014)年4月から募集停止

5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

- 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画の概要は、シラバス及び履修の手引きを参照

● 人間教育学部履修モデル

履修モデル① 小学校教諭一種免許状を取得する履修モデル

履修年次		1年次		2年次		3年次		4年次		計
区分		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	基礎教養科目	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
		英語Ⅰ 英語Ⅱ	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ							4
		小計	4							8
		文学 健康スポーツ(理論)	日本国憲法 健康スポーツ(実技)		倫理学	2				4
		小計	6		2					8
	共生教養科目		人権論		ポランディア活動	2				4
		小計	2	2	2					4
	奈良・国際科目		奈良学							2
		小計	2	2						2
	情報教養科目	情報機器の操作	情報倫理とセキュリティ							4
		小計	4	4						4
専門科目	キャリア形成科目	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ	キャリアデザインⅠ(オプション)	キャリアデザインⅡ(オプション)	1				4
		小計	2	2	2	2				4
		共通教育科目合計	20	20	6					22
	基礎科目	発達心理学A(初等)	教育原理A(初等)	教育心理学A(初等)	産業の理解	2				
		教職入門A(初等)	数の理解 社会の理解 生活の理解	数の理解 教育行政学A(初等)	自然の理解	2				
		※人間教育学Ⅰ(入門)	こころとコミュニケーション ※教育と日本の伝統文化入門	※人間教育学Ⅱ(応用) 異文化コミュニケーション 教育と日本の伝統文化演習		2				
		基礎科目合計	18	18	13	0	0	0	0	31
	発展科目			現代教育論	現代教育課題A(不登校・いじめ) 現代教育課題B(特別支援)	2 2	現代教育課題の理論と方法A(初等) 現代教育課題C(学校と安全)	2 2		
				特別活動の指導法A(初等) 算数科指導法 社会科指導法	生徒指導・進路指導法A(初等) 図工科指導法 音楽科指導法 小学校外国語活動の指導法 総合的な学習の時間	2 2 2 2 2	2 2 2 2 2	2 2 2 2 2	2	
				発展科目合計		18	24	24	2	44
	演習実習科目	人間教育実践力開発演習Ⅰ(1年)		人間教育実践力開発演習Ⅱ(2年)	人間教育実践力開発演習Ⅲ(3年)	1	人間教育実践力開発演習Ⅳ(4年)	1		1
					教育実習事前・事後指導(小)	1	教育実習(小)	2	教育実践演習(幼・小)	2
		★基礎ゼミナールⅠ(1年次)		★基礎ゼミナールⅡ(2年次)	人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	4	人間教育学ゼミナールⅡ(応用)	4		4
		演習実習科目合計	3	3	3	10	7	23		33
		専門科目合計	21	21	34	34	34	9	98	
		総計	41	41	40	34	34	9	124	

※卒業要件単位数:

【共通教育科目】から必修科目4単位を含む26単位以上
 【専門科目】基礎科目から必修科目6単位を含む24単位以上、発展科目から32単位以上、
 演習実習科目から必修科目4単位を含む16単位以上
 【共通教育科目】と【専門科目】の計98単位で、修得した単位の合計が124単位以上とする。

※CAP制 年間履修単位の上限 45単位

教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目
 教職に関する科目
 教科に関する科目
 教科又は教職に関する科目
 本学部卒業必修科目

★赤字

履修モデル② 小学校教諭一種免許状に加え、幼稚園教諭一種免許状を取得する履修モデル

履修年次		1年次		2年次		3年次		4年次		計
区分		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	基礎教養科目	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
		英語Ⅰ 英語Ⅱ	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ							4
		小計	4							8
		文学 数学の世界 健康スポーツ(理論)	日本国憲法 健康スポーツ(実技)							4
		小計	8							8
	共生教養科目		人権論		ポランディア活動	2				4
		小計	2	2	2					4
	奈良・国際科目		奈良学							2
		小計	2	2						2
	情報教養科目	情報機器の操作	情報倫理とセキュリティ							4
		小計	4	4						4
専門科目	キャリア形成科目	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ	キャリアデザインⅠ(オプション)	キャリアデザインⅡ(オプション)	1				4
		小計	2	2	2	2				4
		共通教育科目合計	22	22	4					22
	基礎科目	発達心理学A(初等)	教育原理A(初等)	教育心理学A(初等)	産業の理解	2				
		教職入門A(初等)	数の理解 社会の理解 生活の理解	数の理解 教育行政学A(初等)	自然の理解	2				
		※人間教育学Ⅰ(入門)	こころとコミュニケーション ※教育と日本の伝統文化入門	※人間教育学Ⅱ(応用)		2				
		基礎科目合計	18	18	10	0	0	0	0	28
	発展科目			幼児理解	保育相談支援	現代教育課題A(不登校・いじめ) 現代教育課題B(特別支援)	2 2	現代教育課題の理論と方法A(初等) 現代教育課題C(学校と安全)	2 2	2
				特別活動の指導法A(初等) 算数科指導法 社会科指導法 体育課程総論 子どもと環境 子どもと健康	生徒指導・進路指導法A(初等) 図工科指導法 音楽科指導法 子どもと人間関係 小学校外国語活動の指導法	2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2	2	
				発展科目合計		29	32	32	2	60
	演習実習科目	人間教育実践力開発演習Ⅰ(1年)		人間教育実践力開発演習Ⅱ(2年)	人間教育実践力開発演習Ⅲ(3年)	1	人間教育実践力開発演習Ⅳ(4年)	1		1
					教育実習事前・事後指導(小)	1	教育実習(小)	2	教育実践演習(幼・小)	2
		★基礎ゼミナールⅠ(1年次)		★基礎ゼミナールⅡ(2年次)	人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	4	人間教育学ゼミナールⅡ(応用)	4		4
		演習実習科目合計	3	3	3	10	7	23		33
		専門科目合計	21	21	38	42	42	10	114	
		総計	43	43	43	42	42	12	160	

※卒業要件単位数:

【共通教育科目】から必修科目4単位を含む26単位以上
 【専門科目】基礎科目から必修科目6単位を含む24単位以上、発展科目から32単位以上、
 演習実習科目から必修科目4単位を含む16単位以上
 【共通教育科目】と【専門科目】の計98単位で、修得した単位の合計が124単位以上とする。

※CAP制 年間履修単位の上限 45単位

教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目
 教職に関する科目
 教科に関する科目
 教科又は教職に関する科目
 本学部卒業必修科目

★赤字

履修モデル③ 小学校教諭一種免許状に加え、中学校教諭二種免許状(国語)を取得する履修モデル

履修年次		1年次				2年次				3年次				4年次				計
区分		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名				
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
共通教育科目	基礎教養科目	英語Ⅰ	英会話Ⅰ															
		英語Ⅱ	英会話Ⅱ															
		小計		4												4		
		文学	日本国憲法								数学の世界	2						
		健康スポーツ(理論)	健康スポーツ(実技)															
	小計		6												2	6		
	共生教養科目		人権論												ボランティア活動			
		小計		2												2	4	
	奈良・国際科目					奈良学		2						文化コミュニケーション	2			
		小計						2									2	4
情報教養科目	情報機器の操作	2				情報倫理とセキュリティ		2										
	小計		2				2										4	
キャリア形成科目	キャリアデザインⅠ	1	キャリアデザインⅡ		キャリアデザインレポートⅠ	1	キャリアデザインレポートⅡ	1										
	小計		2			2											4	
共通教育科目合計			16		6											6	24	
専門科目	基礎科目	発達心理学A(初等)	2	教育原理A(初等)	2	教育心理学A(初等)	2	言葉の理解	2	教育行政学B(中等)	2							
		発達心理学B(中等)	2	教育原理B(中等)	2	教育心理学B(中等)	2	自然の理解										
		教職入門A(初等)	2	教の理解	2	教育行政学A(初等)	2	国語Ⅰ	2									
		教職入門B(中等)	2	社会の理解	2	国語学入門												
			2	生活の理解	2	国文学入門												
			2	書き・書読入門	2	国文学入門												
		※人間教育学Ⅰ(入門)	2	※教育者と従来の伝統文化入門	2	※人間教育学Ⅱ(応用)	2											
		基礎科目合計	2	24		20			2			0				46		
	発展科目										現代教育課題B(特別支援)	2	教育現場の理論と方法A(初等)	2	現代教育課題C(学校と安全)	2		
											教育現場の理論と方法A(初等)	2	教育現場の理論と方法B(中等)	2				
											特別活動の指導法A(初等)	2	教育課程論A(初等)	2	国語科教育法Ⅱ	2		
											特別活動の指導法B(中等)	2	教育課程論B(中等)	2	国語科教育法Ⅰ	2		
											算数科指導法	2	遠徳教育の指導法A(初等)	2				
											国工科指導法	2	遠徳教育の指導法B(中等)	2				
											社会科指導法	2	教育方法・技術論A(初等)	2				
												教育方法・技術論B(中等)	2	国語科指導法	2			
										理科指導法	2	家庭科教育法	2					
										体育科指導法	2							
発展科目合計			16		30										4	44		
演習実習科目	人間教育実践力開発演習Ⅰ(1年)		1	人間教育実践力開発演習Ⅱ(2年)		1	人間教育実践力開発演習Ⅲ(3年)		1	人間教育実践力開発演習Ⅳ(4年)		1						
							教育実習事前・事後指導(小)		1	教育実習事前・事後指導(中・高)		2						
							教育実習Ⅰ(小)		2	教育実習Ⅰ(中・高)		2	教職実践演習(幼・小)		2			
							教育実習Ⅱ(小)		2									
★基礎ゼミナールⅠ(1年次)		2	★基礎ゼミナールⅡ(2年次)		2	人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)		4	人間教育学ゼミナールⅡ(応用)									
演習実習科目合計		3		3		3		10								10	26	
専門科目合計		27		39		42		42								14	122	
総計		43		45		42		42								19	141	

*卒業要件単位数:

【共通教育科目】から必修科目4単位を含む26単位以上
【専門科目】基礎科目から必修科目6単位を含む24単位以上、発展科目から32単位以上、
演習実習科目から必修科目4単位を含む16単位以上
【共通教育科目】と【専門科目】の計98単位で、修得した単位の合計が124単位以上とする。

教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目

教職に関する科目
教科に関する科目
教科又は教職に関する科目

*CAP制 年間履修単位の上限 45単位

★赤字

本学部卒業必修科目

履修モデル④ 中学校教諭一種、高等学校教諭一種免許状(国語)を取得する履修モデル

履修年次		1年次			2年次			3年次			4年次			計	
区分		科目名			科目名			科目名			科目名				
		前期	後期		前期	後期		前期	後期		前期	後期			
共通教育科目	基礎教養科目	英語Ⅰ	1	英会話Ⅰ	1										
		英語Ⅱ	1	英会話Ⅱ	1										
		小計			4									4	
		文学	2	日本国憲法	2	数学の世界	2								
	健康スポーツ(理論)	1	健康スポーツ(実技)	1											
	小計			6			2							8	
	共生教養科目		人権論	2			ボランティア活動	2							
		小計			2			2							4
	奈良・国際科目		奈良学	2								文化コミュニケーション	2		
		小計			2									2	4
情報教養科目	情報機器の操作	2	情報倫理とセキュリティ	2											
	小計			4										4	
キャリア形成科目	キャリアデザインⅠ	1	キャリアデザインⅡ	1	キャリアディベロップメントⅠ	1	キャリアディベロップメントⅡ	1							
	小計			2										4	
共通教育科目合計				20			6							28	
専門科目	基礎科目	発達心理学B(中等)	2	教育原理B(中等)	2	教育心理学B(中等)	2	国語学Ⅰ	2						
		教育入門B(中等)	2	歴史・道徳入門	2	教育行政学B(中等)	2	国文学Ⅰ	2						
					学力と評価	2	漢文学Ⅰ	2							
					国語学入門	2									
					国文学入門	2									
					漢文学入門	2									
		※人間教育学Ⅰ(入門)	2	※教育史と日本の伝統文化入門	2	※人間教育学Ⅱ(応用)	2								
				こばねコミュニケーション	2	教育と日本の伝統文化演習	1								
	基礎科目合計				14			21							35
	発展科目								現代教育課題A(不登校・いじめ)	2	教育実践の理論と方法B(中等)	2			
								現代教育課題B(特別支援)	2	現代教育課題C(学校と安全)	2				
								教育課程論B(中等)	2	国語・文学総合演習Ⅰ(国語学)	2				
								国語科教育法Ⅰ	2	道徳教育の指導法B(中等)	2				
								教育方法・技術論B(中等)	2	国語・文学総合演習Ⅱ(漢文学)	2				
								総合的な学習の時間	2	国語・文学総合演習Ⅲ(漢文学)	2				
							国語科教育法Ⅱ	2							
							国語科教育法Ⅲ	2							
							国語学Ⅱ	2							
							国文学Ⅱ	2							
							漢文学Ⅱ	2							
発展科目合計							8			30				38	
演習実習科目	人間教育実践力開発演習Ⅰ(1年)		1	人間教育実践力開発演習Ⅱ(2年)		1	人間教育実践力開発演習Ⅲ(3年)		1	人間教育実践力開発演習Ⅳ(4年)		1			
							教育実習事前・事後指導(中・高)		1	教育実践演習(中・高)		2			
	★基礎ゼミナールⅠ(1年次)		2	★基礎ゼミナールⅡ(2年次)		2	人間教育実習Ⅰ(中・高)		2						
	教育実習Ⅱ(中)		2				人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)		4	人間教育学ゼミナールⅡ(応用)		4			
演習実習科目合計						3		3		10			23		
専門科目合計						17		32		40			76		
総計				37			38		40				91	124	

*卒業要件単位数:

【共通教育科目】から必修科目4単位を含む26単位以上
 【専門科目】基礎科目から必修科目6単位を含む24単位以上、発展科目から32単位以上、
 演習実習科目から必修科目4単位を含む16単位以上
 【共通教育科目】と【専門科目】の計98単位で、修得した単位の合計が124単位以上とする。

教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目
教職に関する科目
教科に関する科目
教科又は教職に関する科目

*CAP制 年間履修単位の上限 45単位

★赤字

本学部卒業必修科目

別表第1 人間教育学部授業科目表 ページ1

学部・学科の名称	授業科目	単位数	備考
人間教育学部・ 人間教育学科	(共通教育等)		
	英語Ⅰ	1	
	英語Ⅱ	1	
	英会話Ⅰ	1	
	英会話Ⅱ	1	
	中国語基礎Ⅰ	1	
	中国語基礎Ⅱ	1	
	中国語会話	1	
	日本語Ⅰ	1	
	日本語Ⅱ	1	
	日本語表現Ⅰ	1	
	日本語表現Ⅱ	1	
	文学	2	
	哲学	2	
	倫理学	2	
	心理学	2	
	行動科学の基礎	2	
	文化人類学	2	
	感性・イメージ表現	2	
	音楽の世界	2	
	社会学	2	
	社会科学の基礎	2	
	日本国憲法	2	
	外国史	2	
	地理学	2	
	数学の世界	2	
	物理と地学の基礎	2	
	環境化学の基礎	2	
	実験と科学	2	
	健康スポーツ(理論)	1	
	健康スポーツ(実技)	1	
	スポーツ実技Ⅰ	1	
	スポーツ実技Ⅱ	1	
	共生と日本社会	2	
	人権論	2	
	ボランティア活動	2	
	生活と環境	2	
	奈良学	2	
	文化コミュニケーション	2	
	文化芸術交流論	2	
	文化芸術交流演習	1	
	国際経済事情	2	
	情報機器の操作	2	
	情報倫理とセキュリティ	2	
	シミュレーションの世界	2	
	データの世界	2	
	CGの基礎と演習	2	
	キャリアデザインⅠ	1	

別表第1 人間教育学部授業科目表 ページ2

学部・学科の名称	授業科目	単位数	備考
	キャリアデザインⅡ	1	
	キャリアディベロップメントⅠ	1	
	キャリアディベロップメントⅡ	1	
	キャリアスキルアップⅠ	1	
	キャリアスキルアップⅡ	1	
	インターンシップ	2	
	(専門教育等)		
	教育心理学A(初等)	2	
	教育心理学B(中等)	2	
	発達心理学A(初等)	2	
	発達心理学B(中等)	2	
	教育行政学A(初等)	2	
	教育行政学B(中等)	2	
	教職入門A(初等)	2	
	教職入門B(中等)	2	
	教育原理A(初等)	2	
	教育原理B(中等)	2	
	学力と評価	2	
	言葉の理解	2	
	社会の理解	2	
	数の理解	2	
	自然の理解	2	
	生活の理解	2	
	音楽の理解	2	
	美術の理解	2	
	衣食住の理解	2	
	運動・健康の理解	2	
	書写演習(小)	2	
	器楽演習Ⅰ(鍵盤楽器)	2	
	器楽演習Ⅱ(鍵盤楽器)	2	
	器楽演習Ⅲ(パーカッション)	2	
	器楽演習Ⅳ(パーカッション)	2	
	行動の科学	2	
	食の心理	2	
	国語学入門	2	
	国語学Ⅰ	2	
	国文学入門	2	
	国文学Ⅰ	2	
	漢文学入門	2	
	漢文学Ⅰ	2	
	書写・書道入門	2	
	書写・書道Ⅰ	2	
	人間教育学Ⅰ(入門)	2	
	人間教育学Ⅱ(応用)	2	
	ことばとコミュニケーション	2	
	教育と日本の伝統文化入門	2	
	教育と日本の伝統文化演習	1	
	異文化コミュニケーション	2	

別表第1 人間教育学部授業科目表 ページ3

学部・学科の名称	授業科目	単位数	備考
	英米文学	2	
	英語とテレビに見る異文化	2	
	コミュニティと音楽文化	2	
	現代教育論	2	
	現代教育課題A(不登校・いじめ)	2	
	現代教育課題B(特別支援)	2	
	現代教育課題C(学校と安全)	2	
	現代教育課題D(学校における異文化理解)	2	
	幼児理解	2	
	保育相談支援	2	
	教育相談の理論と方法A(初等)	2	
	教育相談の理論と方法B(中等)	2	
	保育課程総論	2	
	子どもと健康	2	
	子どもと人間関係	2	
	子どもと環境	2	
	子どもと言葉	2	
	子どもと表現(体育)	2	
	子どもと表現(図工)	2	
	子どもと表現(音楽)	2	
	教育課程論A(初等)	2	
	教育課程論B(中等)	2	
	道徳教育の指導法A(初等)	2	
	道徳教育の指導法B(中等)	2	
	教育方法・技術論A(初等)	2	
	教育方法・技術論B(中等)	2	
	特別活動の指導法A(初等)	2	
	特別活動の指導法B(中等)	2	
	生徒指導・進路指導論A(初等)	2	
	生徒指導・進路指導論B(中等)	2	
	国語科指導法	2	
	社会科指導法	2	
	算数科指導法	2	
	理科指導法	2	
	生活科指導法	2	
	音楽科指導法	2	
	器楽・歌唱の指導法	2	
	図工科指導法	2	
	家庭科指導法	2	
	体育科指導法	2	
	体育実技の指導法	2	
	総合的な学習の時間	2	
	小学校外国語活動の指導法	2	
	国語学Ⅱ	2	
	国語学特論	2	
	語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)	2	
	国文学Ⅱ	2	
	国文学特論	2	

別表第1 人間教育学部授業科目表 ページ4

学部・学科の名称	授業科目	単位数	備考
	語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)	2	
	漢文学Ⅱ	2	
	漢文学特論	2	
	語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)	2	
	書写・書道Ⅱ	2	
	国語科教育法Ⅰ	2	
	国語科教育法Ⅱ	2	
	国語科教育法Ⅲ	2	
	国語科教育法Ⅳ	2	
	教職表現力演習Ⅰ	1	
	教職表現力演習Ⅱ	1	
	人間教育実践力開発演習Ⅰ	1	
	人間教育実践力開発演習Ⅱ	1	
	人間教育実践力開発演習Ⅲ	1	
	人間教育実践力開発演習Ⅳ	1	
	教育実習事前事後指導(幼)	1	
	教育実習Ⅰ(幼)	2	
	教育実習Ⅱ(幼)	2	
	教育実習事前事後指導(小)	1	
	教育実習Ⅰ(小)	2	
	教育実習Ⅱ(小)	2	
	教育実習事前事後指導(中・高)	1	
	教育実習Ⅰ(中・高)	2	
	教育実習Ⅱ(中)	2	
	教職実践演習(幼・小)	2	
	教職実践演習(中・高)	2	
	基礎ゼミナールⅠ	2	
	基礎ゼミナールⅡ	2	
	人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	4	
	人間教育学ゼミナールⅡ(応用)	4	
	卒業研究	4	
	(関連科目)		
	学校経営と学校図書館	2	
	学校図書館メディアの構成	2	
	学習指導と学校図書館	2	
	読書と豊かな人間性	2	
	情報メディアの活用	2	
	言語学概論	2	
	社会言語学	2	
	日本事情	2	
	日本語教育入門	2	
	日本語教育指導法・教材研究	2	
	日本語教育実習事前事後指導	1	
	日本語教育実習(国内又は海外)	2	

別表第2 人間教育学部授業科目表 ページ1

学部・学科の名称	授業科目	単位数	備考
人間教育学部・ 人間教育学科	(教職に関する科目)		
	教職入門A(初等)	2	
	教職入門B(中等)	2	
	教育原理A(初等)	2	
	教育原理B(中等)	2	
	教育心理学A(初等)	2	
	教育心理学B(中等)	2	
	発達心理学A(初等)	2	
	発達心理学B(中等)	2	
	教育行政学A(初等)	2	
	教育行政学B(中等)	2	
	保育課程総論	2	
	教育課程論A(初等)	2	
	教育課程論B(中等)	2	
	子どもと健康	2	
	子どもと人間関係	2	
	子どもと環境	2	
	子どもと言葉	2	
	子どもと表現(体育)	2	
	子どもと表現(図工)	2	
	子どもと表現(音楽)	2	
	国語科指導法	2	
	社会科指導法	2	
	算数科指導法	2	
	理科指導法	2	
	生活科指導法	2	
	音楽科指導法	2	
	図工科指導法	2	
	家庭科指導法	2	
	体育科指導法	2	
	国語科教育法Ⅰ	2	
	国語科教育法Ⅱ	2	
	国語科教育法Ⅲ	2	
	国語科教育法Ⅳ	2	
	道徳教育の指導法A(初等)	2	
	道徳教育の指導法B(中等)	2	
	特別活動の指導法A(初等)	2	
	特別活動の指導法B(中等)	2	
	教育方法・技術論A(初等)	2	
	教育方法・技術論B(中等)	2	
	生徒指導・進路指導論A(初等)	2	
	生徒指導・進路指導論B(中等)	2	
	幼児理解	2	
	保育相談支援	2	
	教育相談の理論と方法A(初等)	2	
	教育相談の理論と方法B(中等)	2	
	教育実習事前事後指導(幼)	1	
	教育実習事前事後指導(小)	1	

別表第2 人間教育学部授業科目表 ページ2

学部・学科の名称	授業科目	単位数	備考
	教育実習事前事後指導(中・高)	1	
	教育実習Ⅰ(幼)	2	
	教育実習Ⅰ(小)	2	
	教育実習Ⅰ(中・高)	2	
	教育実習Ⅱ(幼)	2	
	教育実習Ⅱ(小)	2	
	教育実習Ⅱ(中)	2	
	教職実践演習(幼・小)	2	
	教職実践演習(中・高)	2	
	(教科又は教職に関する科目)		
	人間教育学Ⅰ(入門)	2	
	人間教育学Ⅱ(応用)	2	
	現代教育課題B(特別支援)	2	
	現代教育課題C(学校と安全)	2	
	総合的な学習の時間	2	
	小学校外国語活動の指導法	2	
	道德教育の指導法B(中等)	2	
	(第66条の6に定める科目)		
	日本国憲法	2	
	健康スポーツ(理論)	1	
	健康スポーツ(実技)	1	
	英会話Ⅰ	1	
	英会話Ⅱ	1	
	情報機器の操作	2	

● 保健医療学部履修モデル

■看護師課程選択 履修モデル

科目		1年生						2年生						3年生						4年生						単位	卒業要件		
		＜前期＞			＜後期＞			＜前期＞			＜後期＞			＜前期＞			＜後期＞			＜前期＞			＜後期＞						
		科目	単位	区分	科目	単位	区分	科目	単位	区分	科目	単位	区分	科目	単位	区分	科目	単位	区分	科目	単位	区分	科目	単位	区分			科目	単位
基礎教育 科目	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																						9	必修 10単位 選択 15単位 合計 25単位 以上
	英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																							
	中国語会話	1	選	行動科学の基礎	2	選																							
	健康ばーつ(理論)	1	必	健康ばーつ(実技)	1	必																							
	ドラクワ活動	2	選																										
共通教育 科目	奈良学	2	必	国際経済事情	2	選																						7	
	文化芸術交流論	2	選	文化芸術交流演習(集中)	1	選																							
	情報機器の操作	2	必																										
	キャリア形成Ⅰ	1	選	キャリア形成ⅡⅠ	1	選																							
	キャリア形成Ⅱ	1	選																										
専門基礎 科目	保健医療学概論	1	必	人体構造学Ⅱ	1	必	免疫学	1	選	疾病治療Ⅱ	2	必																24	
	早期体験演習(集中)	1	必	人体機能学Ⅱ	1	必	疾病治療Ⅰ	1	必	保健学Ⅱ(疫学)	2	必																	
	人体構造学Ⅰ	1	必	薬理学	2	必	保健学Ⅰ(公衆衛生)	1	必																				
	人体機能学Ⅰ	1	必	病理学	1	必	社会福祉学	1	必																				
	生化学	1	必	微生物学	1	必	医療福祉関係法規	2	必																				
栄養と食生活	1	必	栄養学概論	2	選	栄養学実習Ⅰ(集中)	2	選																					
専門科目 看護学の 基本	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必																			15	
	看護理論	1	必	基礎看護技術演習Ⅲ	1	必	看護学Ⅰ	1	必																				
	保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必																							
	基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必	看護学Ⅰ	1	必																							
	テーマ医療論	1	必	基礎看護学実習Ⅱ(集中)	2	必																							
専門科目 看護学の 発展	成人看護学概論	2	必	成人看護学援助Ⅰ	2	必	成人看護学援助Ⅱ	2	必	成人看護学実習Ⅰ(集中)	3	必																38	
	老年看護学概論	2	必	老年看護学援助Ⅰ	2	必	成人看護学実習Ⅱ(集中)	3	必																				
	精神看護学概論	2	必	精神看護学援助Ⅰ	2	必	老年看護学実習Ⅰ(集中)	2	必																				
	小児看護学概論	2	必	小児看護学援助Ⅰ	2	必	老年看護学実習Ⅱ(集中)	2	必																				
	母性看護学概論	2	必	母性看護学援助Ⅰ	2	必	小児看護学実習Ⅰ(集中)	2	必																				
専門科目 看護学の 統合と発展	在宅看護学概論	2	必	在宅看護学援助Ⅰ	2	必	在宅看護学実習Ⅰ(集中)	2	必	国際保健医療看護論	1	必	災害看護論	1	選													17	
	保健医療英語Ⅰ	1	選							国際保健医療看護演習(集中)	1	選	医療安全管理学	1	必														
										総合看護学実習(集中)	2	必	テーマ医療演習	1	必														
										卒業研究Ⅰ	1	必	卒業研究Ⅱ	1	必														
										看護キャリア開発論	1	選																	
共通 専門基礎 専門 合計					公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ	2	必	公衆衛生看護学Ⅲ	2	必															6	
	必修 7	14			必修 0	1		必修 0	0		必修 0	1		必修 0	0														
	選択 7	14			選択 0	0		選択 0	0		選択 0	0		選択 0	0														
	必修 6	6			必修 5	8		必修 4	4		必修 0	0		必修 0	0														
	選択 0	0			選択 3	3		選択 0	0		選択 0	0		選択 0	0														
専門 科目	必修 2	2			必修 11	11		必修 14	15		必修 14	14		必修 18	18		必修 4	5		必修 3	5		必修 2	2				76	
	選択 0	0			選択 0	0		選択 1	1		選択 0	0		選択 0	0		選択 1	1		選択 3	3		選択 2	2					
	必修 18	22			必修 18	20		必修 18	19		必修 14	16		必修 18	18		必修 4	6		必修 3	5		必修 2	2					
	選択 7	14			選択 4	5		選択 1	1		選択 1	1		選択 0	0		選択 1	1		選択 3	3		選択 2	2					
	必修 30	42			必修 34	39		必修 32	33		必修 32	33		必修 18	18		必修 7	12		必修 5	10		必修 2	2					
合計	必修30 選択12 合計42						必修34 選択15 合計39						必修32 選択11 合計33						必修7 選択4 合計11						必修103 単位 選択22 単位 合計125 単位以上				

■看護師・助産師課程 履修モデル

科目	1年生										2年生										3年生										4年生										単位	卒業要件
	＜前期＞					＜後期＞					＜前期＞					＜後期＞					＜前期＞					＜後期＞					＜前期＞					＜後期＞						
	科目	単位	必修	選択	選択	科目	単位	必修	選択	選択	科目	単位	必修	選択	選択	科目	単位	必修	選択	選択	科目	単位	必修	選択	選択	科目	単位	必修	選択	選択	科目	単位	必修	選択	選択							
共通教育科目	基礎授業	英語Ⅰ	1	必		英語Ⅱ	1	必																																		
		英会話Ⅰ	1	必		英会話Ⅱ	1	必																																		
		健康ばっく(理論)	1	必		感性・イメージ表現	2	選																																		
						行動科学の基礎	2	選																																		
						健康ばっく(実技)	1	必																																		
	教養Ⅰ	生活と環境	2	選		共生と日本社会	2	選																																		
		教養Ⅱ																																								
	国際交流	食生活	2	必		文化芸術交流演習(集中)	1	選																																		
		文化芸術交流論	2	選																																						
	情報教育	情報機器の操作	2	必		CGの基礎と演習	2	選																																		
キャリアデザインⅠ		1	選																																							
キャリア教育	キャリアデザインⅡ	1	選																																							
	キャリアデザインⅢ	1	選																																							
専門基礎科目	健康・医療理解	保健医療学概論	1	必		人体構造学Ⅱ	1	必		疾病治療論Ⅰ	1	必	疾病治療論Ⅱ	2	必																											
		早期体験演習(集中)	1	必		人体機能学Ⅱ	1	必		保健学Ⅰ(公衆衛生)	1	必	保健学Ⅱ(疫学)	2	必																											
		人体構造学Ⅰ	1	必		薬理学	2	必		社会福祉学	1	必	心身医療論	2	選																											
		人体機能学Ⅰ	1	必		病理学	1	必		医療福祉関係法規	2	必																														
		生化学	1	必		微生物学	1	必		遺伝学	1	選																														
	公衆衛生	公衆と食生活	1	必																																						
	看護学の基本	看護学概論	2	必		基礎看護技術演習Ⅰ	2	必		基礎看護技術演習Ⅱ	2	必																														
						看護理論	1	必		基礎看護技術演習Ⅲ	1	必																														
						保健医療倫理学	1	必		看護過程演習Ⅰ	1	必																														
					基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必		看護過程演習Ⅱ	1	必																															
					看護学実習Ⅱ(集中)	1	必		看護過程演習Ⅲ	1	必																															
専門科目	看護学の展開									成人看護学概論	2	必	成人看護学援助論Ⅰ	2	必	成人看護学援助論Ⅱ	2	必	成人看護学実習Ⅰ(集中)	3	必																					
										老年看護学概論	2	必	老年看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅰ(集中)	3	必	成人看護学実習Ⅱ(集中)	3	必																					
										精神看護学概論	2	必	精神看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅱ(集中)	2	必	老年看護学実習Ⅲ(集中)	2	必																					
										小児看護学概論	2	必	小児看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅳ(集中)	2	必	小児看護学実習Ⅰ(集中)	2	必																					
										母性看護学概論	2	必	母性看護学援助論	2	必	小児看護学実習Ⅱ(集中)	2	必	母性看護学実習Ⅰ(集中)	2	必																					
	統合と発展									在宅看護学概論	2	必	在宅看護学援助論	2	必	在宅看護学実習Ⅰ(集中)	2	必	国際医療看護学概論	1	必	災害安全看護学	1	必																		
																			総合看護学実習(集中)	2	必	災害医療演習	1	必																		
																			卒業研究Ⅰ	1	必																					
																			卒業研究Ⅱ(集中)通年																							
専門科目	公衆衛生									公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ	2	必	公衆衛生看護学Ⅱ	2	必																								
	助産学																																									
共通	必修	7	13		必修	3	12		必修	0	0		必修	0	0		必修	0	0		必修	0	0		必修	0	0		必修	0	0		必修	0	0							
	選択	6	6		選択	9	6		選択	0	0		選択	0	0		選択	0	0		選択	0	0		選択	0	0		選択	0	0		選択	0	0							
専門基礎	必修	6	6		必修	6	6		必修	5	6		必修	4	6		必修	0	6		必修	0	6		必修	0	6		必修	0	6		必修	0	6							
	選択	0	2		選択	0	6		選択	0	6		選択	0	6		選択	0	6		選択	0	6		選択	0	6		選択	0	6		選択	0	6							
専門	必修	2	2		必修	6	6		必修	11	11		必修	11	11		必修	4	9		必修	4	9		必修	3	14		必修	3	14		必修	3	14							
	選択	0	2		選択	0	6		選択	0	6		選択	0	6		選択	0	6		選択	0	6		選択	0	6		選択	0	6		選択	0	6							
合計	必修	15	21		必修	16	24		必修	16	17		必修	14	20		必修	18	21		必修	18	22		必修	4	9		必修	3	14		必修	103	148							
	選択	6	6		選択	9	9		選択	1	2		選択	4	4		選択	6	6		選択	6	6		選択	6	6		選択	6	6		選択	15	148							

別表第1 保健医療学部授業科目表 ページ1

学部・学科の名称	授業科目	単位数	備考
保健医療学部・ 看護学科	(共通教育等)		
	英語Ⅰ	1	
	英語Ⅱ	1	
	英会話Ⅰ	1	
	英会話Ⅱ	1	
	中国語基礎Ⅰ	1	
	中国語基礎Ⅱ	1	
	中国語会話	1	
	日本語Ⅰ	1	
	日本語Ⅱ	1	
	日本語表現Ⅰ	1	
	日本語表現Ⅱ	1	
	文学	2	
	哲学	2	
	倫理学	2	
	心理学	2	
	行動科学の基礎	2	
	文化人類学	2	
	感性・イメージ表現	2	
	音楽の世界	2	
	社会学	2	
	社会科学の基礎	2	
	日本国憲法	2	
	外国史	2	
	地理学	2	
	数学の世界	2	
	物理と地学の基礎	2	
	環境化学の基礎	2	
	実験と科学	2	
	健康スポーツ(理論)	1	
	健康スポーツ(実技)	1	
	スポーツ実技Ⅰ	1	
	スポーツ実技Ⅱ	1	
	共生と日本社会	2	
	人権論	2	
	ボランティア活動	2	
	生活と環境	2	
	奈良学	2	
	文化コミュニケーション	2	
	文化芸術交流論	2	
	文化芸術交流演習	1	
	国際経済事情	2	
	情報機器の操作	2	
	情報倫理とセキュリティ	2	
	シミュレーションの世界	2	
	データの世界	2	
	CGの基礎と演習	2	
	キャリアデザインⅠ	1	

別表第1 保健医療学部授業科目表 ページ2

学部・学科の名称	授業科目	単位数	備考
	キャリアデザインⅡ	1	
	キャリアディベロップメントⅠ	1	
	キャリアディベロップメントⅡ	1	
	キャリアスキルアップⅠ	1	
	キャリアスキルアップⅡ	1	
	(専門教育等)		
	保健医療学概論	1	
	早期体験演習	1	
	人体構造学Ⅰ	1	
	人体構造学Ⅱ	1	
	人体機能学Ⅰ	1	
	人体機能学Ⅱ	1	
	生化学	1	
	薬理学	2	
	免疫学	1	
	病理学	1	
	微生物学	1	
	遺伝学	1	
	栄養と食生活	1	
	疾病治療論Ⅰ	1	
	疾病治療論Ⅱ	2	
	保健学Ⅰ(公衆衛生)	1	
	保健学Ⅱ(疫学)	2	
	保健統計	2	
	心身医療論	1	
	カウンセリング論	1	
	ヘルスプロモーション論	2	
	社会福祉学	1	
	医療福祉関係法規	2	
	保健医療福祉行政論	2	
	看護学概論	2	
	基礎看護技術演習Ⅰ	2	
	基礎看護技術演習Ⅱ	2	
	基礎看護技術演習Ⅲ	1	
	看護理論	1	
	看護過程演習	1	
	ヘルスアセスメント	1	
	チーム医療論	1	
	保健医療倫理学	1	
	基礎看護学実習Ⅰ	1	
	基礎看護学実習Ⅱ	2	
	成人看護学概論	2	
	成人看護学援助論Ⅰ(急性期・周手術期)	2	
	成人看護学援助論Ⅱ(慢性期・回復期・終末期)	2	
	老年看護学概論	2	
	老年看護学援助論	2	
	小児看護学概論	2	
	小児看護学援助論	2	

別表第1 保健医療学部授業科目表 ページ3

学部・学科の名称	授業科目	単位数	備考
	母性看護学概論	2	
	母性看護学援助論	2	
	精神看護学概論	2	
	精神看護学援助論	2	
	成人看護学実習Ⅰ(急性期・周手術期)	3	
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期・回復期・終末期)	3	
	老年看護学実習Ⅰ	2	
	老年看護学実習Ⅱ	2	
	小児看護学実習	2	
	母性看護学実習	2	
	精神看護学実習	2	
	在宅看護学概論	2	
	在宅看護学援助論	2	
	在宅看護学実習	2	
	家族援助論	1	
	行動変容アプローチ	1	
	チーム医療演習	1	
	感染症看護論	1	
	災害看護論	1	
	ターミナルケア論	1	
	医療安全管理学	1	
	看護キャリア開発論	1	
	保健医療英語Ⅰ	1	
	保健医療英語Ⅱ(文献講読)	1	
	国際保健医療看護論	1	
	国際保健医療看護演習	1	
	統合看護学実習	2	
	卒業研究Ⅰ	1	
	卒業研究Ⅱ	1	
	公衆衛生看護学概論	2	
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	2	
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	
	公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)	2	
	公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)	2	
	公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	2	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(地域活動)	3	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	1	
	公衆衛生看護学診断演習	2	
	助産学概論	2	
	ウイメンズヘルス学	2	
	周産期医学	1	
	助産診断・技術学Ⅰ	2	
	助産診断・技術学Ⅱ	2	
	助産診断・技術学Ⅲ	2	
	助産診断・技術学演習	2	
	助産診断・技術学実習Ⅰ	3	
	助産診断・技術学実習Ⅱ	2	

別表第1 保健医療学部授業科目表 ページ4

学部・学科の名称	授業科目	単位数	備考
	助産診断・技術学実習Ⅲ	3	
	助産診断・技術学実習Ⅳ	3	
	地域母子保健	1	
	助産管理論	2	

● ビジネス学部履修モデル

「ビジネス学部 ビジネス学科 経営コース」履修モデル

1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目			
専門教育科目	専門基礎科目	管理の仕組みとビジネス マーケティングの仕組みとビジネス 簿記の仕組みとビジネス 法の仕組みとビジネス 政治の仕組みとビジネス 経済の仕組みとビジネス 4科目を選択必修		基幹科目	本基幹科目	発展科目	経営戦略論Ⅰ＆Ⅱ○ 経営倫理学Ⅰ＆Ⅱ○ コミュニティビジネスⅠ＆Ⅱ○ 企業と法律Ⅰ＆Ⅱ○ リスクマネジメントⅠ＆Ⅱ○ 現代企業家事情○ 経営財務論Ⅰ＆Ⅱ○ 商品と物流Ⅰ＆Ⅱ 広告論Ⅰ＆Ⅱ 消費者と法律Ⅰ＆Ⅱ 管理会計論Ⅰ＆Ⅱ 監査論Ⅰ＆Ⅱ 経営分析論Ⅰ＆Ⅱ 数理処理 ビジネス情報解析論Ⅰ＆Ⅱ スポーツ行政学 知的財産法 言語能力開発 政策科学Ⅰ＆Ⅱ○ アジア経済論 アジアビジネス事情 ビジネス学特別講義		
	専門科目	別コース基幹科目 簿記Ⅰ＆Ⅱ	別基幹科目						発展科目
	基幹科目								
	別コース基幹科目								
		◎印の科目を中心に履修							○印の科目を中心に履修
30科目を選択必修									
演習科目	導入演習	総合演習		プロジェクト演習Ⅰ (必修)		プロジェクト演習Ⅱ (必修)			
	基礎演習	プレ・プロジェクト演習							
2科目は必修、4科目は登録必修									

「ビジネス学部 ビジネス学科 マーケティングコース」履修モデル

		1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目			
専門教育科目	専門基礎科目	管理の仕組みとビジネス		基幹科目	本コース	マーケティング論Ⅰ＆Ⅱ◎		本コース	商品と物流Ⅰ＆Ⅱ○		
		マーケティングの仕組みとビジネス				マーケティングリサーチ◎			広告論Ⅰ＆Ⅱ○		
		簿記の仕組みとビジネス				消費者行動論Ⅰ＆Ⅱ◎			消費者と法律Ⅰ＆Ⅱ○		
		法の仕組みとビジネス				商品の科学Ⅰ＆Ⅱ◎					
	専門科目	基幹科目	政治の仕組みとビジネス		債権法◎		発展科目				
			経済の仕組みとビジネス		経営史Ⅰ＆Ⅱ			経営戦略論Ⅰ＆Ⅱ			
			4科目を選択必修		企業論Ⅰ＆Ⅱ			経営倫理学Ⅰ＆Ⅱ			
					経営管理論Ⅰ＆Ⅱ			コミュニティビジネスⅠ＆Ⅱ			
					経営組織論Ⅰ＆Ⅱ			企業と法律Ⅰ＆Ⅱ			
					人的資源管理論Ⅰ＆Ⅱ			リスクマネジメントⅠ＆Ⅱ			
専門科目	基幹科目	別コース基幹科目		別コース	リーダーシップ論Ⅰ＆Ⅱ		発展科目	現代企業家事情			
		簿記Ⅰ＆Ⅱ			簿記中級			経営財務論Ⅰ＆Ⅱ			
					簿記上級			管理会計論Ⅰ＆Ⅱ			
					会計学原理Ⅰ＆Ⅱ			監査論Ⅰ＆Ⅱ			
					財務諸表論Ⅰ＆Ⅱ			経営分析論Ⅰ＆Ⅱ			
					政治原論Ⅰ＆Ⅱ			数理処理			
					ミクロ経済学Ⅰ＆Ⅱ			ビジネス情報解析論Ⅰ＆Ⅱ			
					マクロ経済学Ⅰ＆Ⅱ			スポーツ行政学			
					ITスキルアップⅠ＆Ⅱ◎			知的財産法			
					財政学Ⅰ＆Ⅱ			言語能力開発			
		レジャー産業論		政策科学Ⅰ＆Ⅱ							
		スポーツ経営学		アジア経済論							
		国際経済学Ⅰ＆Ⅱ		アジアビジネス事情							
		ビジネス学特別講義		ビジネス学特別講義							
		◎印の科目を中心に履修		○印の科目を中心に履修							
30科目を選択必修											
演習科目	導入演習		総合演習		プロジェクト演習Ⅰ (必修)		プロジェクト演習Ⅱ (必修)				
	基礎演習		プレ・プロジェクト演習								
2科目は必修、4科目は登録必修											

「ビジネス学部 ビジネス学科 会計コース」履修モデル

1年次配当科目				2年次配当科目				3年次配当科目				4年次配当科目			
専門教育科目	専門基礎科目	管理の仕組みとビジネス		基幹科目	本コース基幹科目	簿記中級◎		発展科目	本コース発展科目	管理会計論Ⅰ＆Ⅱ○					
		マーケティングの仕組みとビジネス				簿記上級◎				監査論Ⅰ＆Ⅱ○					
		簿記の仕組みとビジネス				会計学原理Ⅰ＆Ⅱ◎				経営分析論Ⅰ＆Ⅱ○					
		法の仕組みとビジネス				財務諸表論Ⅰ＆Ⅱ◎									
		政治の仕組みとビジネス				経営史Ⅰ＆Ⅱ				経営戦略論Ⅰ＆Ⅱ					
	経済の仕組みとビジネス		企業論Ⅰ＆Ⅱ		経営倫理学Ⅰ＆Ⅱ		コミュニティビジネスⅠ＆Ⅱ								
	4科目を選択必修		経営管理論Ⅰ＆Ⅱ		企業と法律Ⅰ＆Ⅱ		リスクマネジメントⅠ＆Ⅱ								
	専門科目	基幹科目			別コース基幹科目	経営組織論Ⅰ＆Ⅱ			別コース発展科目	現代企業家事情			経営財務論Ⅰ＆Ⅱ		
						人的資源管理論Ⅰ＆Ⅱ				商品と物流Ⅰ＆Ⅱ			広告論Ⅰ＆Ⅱ		
						リーダーシップ論Ⅰ＆Ⅱ				消費財と法律Ⅰ＆Ⅱ			数値処理		
			マーケティング論Ⅰ＆Ⅱ			政治原論Ⅰ＆Ⅱ		ビジネス情報解析論Ⅰ＆Ⅱ							
			マーケティングリサーチ			ミクロ経済学Ⅰ＆Ⅱ		スポーツ行政学							
		簿記Ⅰ＆Ⅱ◎		消費者行動論Ⅰ＆Ⅱ		マクロ経済学Ⅰ＆Ⅱ		知的財産法		言語能力開発					
				商品の科学Ⅰ＆Ⅱ		ITスキルアップⅠ＆Ⅱ◎		政策科学Ⅰ＆Ⅱ		アジア経済論					
				政治原論Ⅰ＆Ⅱ		財政学Ⅰ＆Ⅱ		アジアビジネス事情		ビジネス学特別講義					
				レジャー産業論		スポーツ経営学									
				国際経済学Ⅰ＆Ⅱ		ビジネス学特別講義									
				◎印の科目を中心に履修		◎印の科目を中心に履修		○印の科目を中心に履修							
30科目を選択必修															
演習科目		導入演習		総合演習		プロジェクト演習Ⅰ (必修)	プロジェクト演習Ⅱ (必修)								
		基礎演習		プレ・プロジェクト演習											
2科目は必修、4科目は登録必修															

「ビジネス学部 ビジネス学科 公務員コース」履修モデル

1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目	
専門教育科目	専門基礎科目	管理の仕組みとビジネス マーケティングの仕組みとビジネス 簿記の仕組みとビジネス 法の仕組みとビジネス 政治の仕組みとビジネス 経済の仕組みとビジネス 4科目を選択必修	専門科目	基幹科目 本基 コ幹 Ⅰ科 ス目 別基 コ幹 Ⅰ科 ス目	発展科目 本発 コ展 Ⅰ科 ス目 別発 コ展 Ⅰ科 ス目	労働法○ 社会保障法○ 行政学○ 地方自治論 数値処理○ 答案練習Ⅰ＆Ⅱ○ 知的財産法 言語能力開発○ ビジネス学特別講義	
							</

学部・学科の名称	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
ビジネス学部・ ビジネス学科	(共通教育等)			
	日本語コミュニケーションⅠ		1	
	日本語コミュニケーションⅡ		1	
	ITリテラシーⅠ		1	
	ITリテラシーⅡ		1	
	基礎数学Ⅰ		1	
	基礎数学Ⅱ		1	
	基礎英語Ⅰ	1	4 単 位 以 上	
	基礎英語Ⅱ	1		
	英語読解Ⅰ	1		
	英語読解Ⅱ	1		
	英語会話Ⅰ	1		
	英語会話Ⅱ	1		
	資格試験対策英語Ⅰ	1		
	資格試験対策英語Ⅱ	1		
	中国語Ⅰ			1
	中国語Ⅱ			1
	中国語Ⅲ			1
	中国語Ⅳ			1
	中国語会話Ⅰ	1		
	中国語会話Ⅱ	1		
	日本語(語彙・読解)Ⅰ	1	4 単 位 以 上	(留学生用)
	日本語(語彙・読解)Ⅱ	1		(留学生用)
	日本語(作文)Ⅰ	1		(留学生用)
	日本語(作文)Ⅱ	1		(留学生用)
	日本語特講(語彙・読解)Ⅰ	1		(留学生用)
	日本語特講(語彙・読解)Ⅱ	1		(留学生用)
	日本語特講(文法・聴解)Ⅰ	1		(留学生用)
	日本語特講(文法・聴解)Ⅱ	1		(留学生用)
	日本語(上級作文)Ⅰ	1		(留学生用)
	日本語(上級作文)Ⅱ	1		(留学生用)
	キャリアデザインⅠ		2	
	キャリアデザインⅡ		2	
	キャリアディベロップメントⅠ		2	
	キャリアディベロップメントⅡ		2	
	キャリアスキルアップⅠ		2	
	キャリアスキルアップⅡ		2	
	キャリアビジネス実務Ⅰ		2	
	キャリアビジネス実務Ⅱ		2	
	インターンシップⅠ		2	
	インターンシップⅡ		2	
	サッカー		1	
	ソフトボール		1	
	卓球		1	
	テニス		1	
	バスケットボール		1	
	バドミントン		1	
	コーチング論		2	
	スポーツ心理学		2	
	スポーツ科学論		2	
	健康スポーツ演習		2	
	現代社会と哲学		2	
	現代社会と倫理		2	
	現代社会と宗教		2	
	日本の文学		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	現代社会と地理		2	
	日本国憲法		2	
	現代社会入門		2	
	社会科学の考え方		2	
	日本人の労働を考える		2	
	税制から見る日本経済		2	
	アジアから見る世界経済		2	
	日本とアジア諸国との関係を考える		2	
	人間関係の心理学		2	

学部・学科の名称	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	認知行動の心理学		2	
	生活の中の数学		2	
	科学技術を考える		2	
	生活の中の物理		2	
	生活の中の化学		2	
	生命の科学		2	
	地球の科学		2	
	実験で学ぶ科学		2	
	科学の歴史		2	
	メディアを考える		2	
	奈良の文学と風土		2	
	奈良の歴史と伝統		2	
	環境を考える		2	
	人権を考える		2	
	地域社会を考える		2	
	特講(ボランティア論)		2	
	日本事情Ⅰ		2	(留学生用)
	日本事情Ⅱ		2	(留学生用)
	(専門教育等)			
	管理の仕組みとビジネス	2	8 単 位 以 上	
	マーケティングの仕組みとビジネス	2		
	簿記の仕組みとビジネス	2		
	法の仕組みとビジネス	2		
	政治の仕組みとビジネス	2		
	経済の仕組みとビジネス	2		
	経営史Ⅰ		2	
	経営史Ⅱ		2	
	企業論Ⅰ		2	
	企業論Ⅱ		2	
	経営管理論Ⅰ		2	
	経営管理論Ⅱ		2	
	経営組織論Ⅰ		2	
	経営組織論Ⅱ		2	
	人的資源管理論Ⅰ		2	
	人的資源管理論Ⅱ		2	
	リーダーシップ論Ⅰ		2	
	リーダーシップ論Ⅱ		2	
	経営戦略論Ⅰ		2	
	経営戦略論Ⅱ		2	
	経営倫理学Ⅰ		2	
	経営倫理学Ⅱ		2	
	コミュニティビジネスⅠ		2	
	コミュニティビジネスⅡ		2	
	企業と法律Ⅰ		2	
	企業と法律Ⅱ		2	
	リスクマネジメントⅠ		2	
	リスクマネジメントⅡ		2	
	現代企業家事情		2	
	経営財務論Ⅰ		2	
	経営財務論Ⅱ		2	
	マーケティング論Ⅰ		2	
	マーケティング論Ⅱ		2	
	マーケティングリサーチ		2	
	消費者行動論Ⅰ		2	
	消費者行動論Ⅱ		2	
	商品の科学Ⅰ		2	
	商品の科学Ⅱ		2	
	債権法		2	
	商品と物流Ⅰ		2	
	商品と物流Ⅱ		2	
	広告論Ⅰ		2	
	広告論Ⅱ		2	
	消費者と法律Ⅰ		2	
	消費者と法律Ⅱ		2	
	簿記Ⅰ		2	

学則別表1 ビジネス学部授業科目表 ページ3

学部・学科の名称	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	簿記Ⅱ		2	
	簿記中級		2	
	簿記上級		2	
	会計学原理Ⅰ		2	
	会計学原理Ⅱ		2	
	財務諸表論Ⅰ		2	
	財務諸表論Ⅱ		2	
	原価計算論Ⅰ		2	
	原価計算論Ⅱ		2	
	管理会計論Ⅰ		2	
	管理会計論Ⅱ		2	
	監査論Ⅰ		2	
	監査論Ⅱ		2	
	経営分析論Ⅰ		2	
	経営分析論Ⅱ		2	
	憲法Ⅰ		2	
	憲法Ⅱ		2	
	民法Ⅰ		2	
	民法Ⅱ		2	
	商法Ⅰ		2	
	商法Ⅱ		2	
	刑法Ⅰ		2	
	刑法Ⅱ		2	
	行政法Ⅰ		2	
	行政法Ⅱ		2	
	政治原論Ⅰ		2	
	政治原論Ⅱ		2	
	ミクロ経済学Ⅰ		2	
	ミクロ経済学Ⅱ		2	
	マクロ経済学Ⅰ		2	
	マクロ経済学Ⅱ		2	
	労働法		2	
	社会保障法		2	
	行政学		2	
	地方自治論		2	
	数理処理		2	
	答案練習Ⅰ		2	
	答案練習Ⅱ		2	
	ITスキルアップⅠ		2	
	ITスキルアップⅡ		2	
	経済政策Ⅰ		2	
	経済政策Ⅱ		2	
	財政学Ⅰ		2	
	財政学Ⅱ		2	
	レジャー産業論		2	
	スポーツ経営学		2	
	国際経済学Ⅰ		2	
	国際経済学Ⅱ		2	
	ビジネス情報解析論Ⅰ		2	
	ビジネス情報解析論Ⅱ		2	
	スポーツ行政学		2	
	知的財産法		2	
	言語能力開発		2	
	政策科学Ⅰ		2	
	政策科学Ⅱ		2	
	アジア経済論		2	
	アジアビジネス事情		2	
	職業指導Ⅰ		2	
	職業指導Ⅱ		2	
	導入演習		2	
	基礎演習		2	
	総合演習		2	
	ブレ・プロジェクト演習		2	
	プロジェクト演習Ⅰ	4		
	プロジェクト演習Ⅱ	4		

● 情報学部履修モデル

「システムコース(システム開発者向け)」専門科目履修モデル

	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
ゼミ科目	情報学ゼミⅠA	情報学ゼミⅠB	情報学ゼミⅡA	情報学ゼミⅡB	情報学ゼミⅢ		情報学ゼミⅣ		16単位
プロジェクト演習			プロジェクト演習Ⅰ		プロジェクト演習Ⅱ		プロジェクト演習Ⅲ		12単位
実験科目	情報学実験基礎Ⅰ	情報学実験基礎Ⅱ	情報学実験応用Ⅰ	情報学実験応用Ⅱ					4単位
学部共通専門科目	情報学基礎	情報物理		情報と法	ベンチャー企業論	論文構成論			26単位
	情報学基礎演習			情報と倫理					
	プログラミング入門								
	プログラミング基礎								
	プログラミング基礎演習				音情報処理論	画像情報処理論			
システムコース科目	デジタル表現入門	ウェブデザイン基礎							45単位
				情報数学Ⅰ	情報数学Ⅱ	ゲーム数理			
				情報数学演習Ⅰ	情報数学演習Ⅱ				
			ネットワーク基礎	コンピュータアーキテクチャ基礎	コンピュータアーキテクチャ応用				
			ネットワーク基礎演習	コンピュータアーキテクチャ基礎演習					
			データベース基礎	オペレーティングシステム基礎	組み込みシステム	プログラミング応用			
			データベース基礎演習	オペレーティングシステム基礎演習		プログラミング応用演習		オペレーティングシステム応用	
			アルゴリズムとデータ構造			ネットワークプログラミング			
			アルゴリズムとデータ構造演習			ネットワークプログラミング演習			
						ソフトウェア工学	システムインテグレーション	情報セキュリティ	
					ヒューマンコンピュータインタラクション	知能システム			

平成26年度不開講科目
必修または登録必修科目

「システムコース(システム管理者向け)」専門科目履修モデル

	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
ゼミ科目	情報学ゼミⅠA	情報学ゼミⅠB	情報学ゼミⅡA	情報学ゼミⅡB	情報学ゼミⅢ		情報学ゼミⅣ		16単位
プロジェクト演習			プロジェクト演習Ⅰ		プロジェクト演習Ⅱ		プロジェクト演習Ⅲ		12単位
実験科目	情報学実験基礎Ⅰ	情報学実験基礎Ⅱ	情報学実験応用Ⅰ	情報学実験応用Ⅱ					4単位
学部共通専門科目	情報学基礎	情報物理		情報と法	ベンチャー企業論	論文構成論			26単位
	情報学基礎演習			情報と倫理					
	プログラミング入門								
	プログラミング基礎								
	プログラミング基礎演習				音情報処理論	画像情報処理論			
システムコース科目	デジタル表現入門	ウェブデザイン基礎							42単位
				情報数学Ⅰ	情報数学Ⅱ				
				情報数学演習Ⅰ	情報数学演習Ⅱ				
			ネットワーク基礎	コンピュータアーキテクチャ基礎		データベース応用			
			ネットワーク基礎演習	コンピュータアーキテクチャ基礎演習					
			データベース基礎	オペレーティングシステム基礎		オペレーティングシステム応用			
			データベース基礎演習	オペレーティングシステム基礎演習					
			アルゴリズムとデータ構造			ネットワークプログラミング			
			アルゴリズムとデータ構造演習		システムインテグレーション	ネットワークプログラミング演習			
					ウェブシステム	情報セキュリティ			
					システム管理とメンテナンス	ネットワーク応用	ヒューマンコンピュータインタラクション	ソフトウェア工学	

平成26年度不開講科目
必修または登録必修科目

「メディアコース(映像クリエイター向け)」 専門科目履修モデル

	1年次		2年次		3年次		4年次			
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
ゼミ科目	情報学ゼミⅠA	情報学ゼミⅠB	情報学ゼミⅡA	情報学ゼミⅡB	情報学ゼミⅢ		情報学ゼミⅣ		16単位	
プロジェクト演習			プロジェクト演習Ⅰ		プロジェクト演習Ⅱ		プロジェクト演習Ⅲ		12単位	
実験科目	情報学実験基礎Ⅰ	情報学実験基礎Ⅱ	情報学実験応用Ⅰ	情報学実験応用Ⅱ					4単位	
学際共通専門科目	情報学基礎	情報物理			ベンチャー企業論	論文構成論			26単位	
	情報学基礎演習					情報と法				
	プログラミング入門					情報と倫理				
	プログラミング基礎									
	プログラミング基礎演習									
	デジタル表現入門	ウェブデザイン基礎			音情報処理論	画像情報処理論				
メディアコース科目			基礎デッサン	デッサン					40単位	
				デザイン基礎						
				DTP						
	マルチメディア表現		ウェブデザイン							
	コンピュータグラフィックス基礎		コンピュータグラフィックス応用							
	映像作品概論		コンテンツ構成論	映像制作Ⅰ	映像制作Ⅱ	映像制作Ⅲ				
	映像技術		オーディオデザイン論	デジタルアーカイブ	メタ情報資源					
		平成26年度不開講科目								
		必修または登録必修科目								

「メディアコース(デジタルコンテンツクリエイター向け)」 専門科目履修モデル

	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
ゼミ科目	情報学ゼミⅠA	情報学ゼミⅠB	情報学ゼミⅡA	情報学ゼミⅡB	情報学ゼミⅢ		情報学ゼミⅣ		16単位
プロジェクト演習			プロジェクト演習Ⅰ		プロジェクト演習Ⅱ		プロジェクト演習Ⅲ		12単位
実験科目	情報学実験基礎Ⅰ	情報学実験基礎Ⅱ	情報学実験応用Ⅰ	情報学実験応用Ⅱ					4単位
学部共通専門科目	情報学基礎	情報物理			ベンチャー企業論	論文構成論			26単位
	情報学基礎演習								
	プログラミング入門						情報と法		
	プログラミング基礎								
	プログラミング基礎演習					情報と倫理			
	デジタル表現入門	ウェブデザイン基礎			音情報処理論	画像情報処理論			
メディアコース科目			基礎デザイン	デザイン					43単位
				デザイン基礎					
			ウェブデザイン						
	マルチメディア表現	DTP	デジタルコンテンツ制作Ⅰ	デジタルコンテンツ制作Ⅱ	デジタルコンテンツ制作Ⅲ				
	コンピュータグラフィック基礎	コンピュータグラフィック応用							
	デジタルアーキビスト概論	文化情報システム					コンテンツ構成論		
	デジタルアーカイブ	文化情報の管理と流通							
		メタ情報資源							
システムコース科目					データベース基礎				
					データベース基礎演習				
		平成26年度不開講科目							
		必修または登録必修科目							

学部・学科の名称	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
情報学部・情報学科	(共通教育等)			
	日本語コミュニケーションⅠ		1	
	日本語コミュニケーションⅡ		1	
	ITリテラシーⅠ		1	
	ITリテラシーⅡ		1	
	基礎数学Ⅰ		1	
	基礎数学Ⅱ		1	
	基礎英語Ⅰ	1	4 単 位 以 上	
	基礎英語Ⅱ	1		
	英語読解Ⅰ	1		
	英語読解Ⅱ	1		
	英語会話Ⅰ	1		
	英語会話Ⅱ	1		
	資格試験対策英語Ⅰ	1		
	資格試験対策英語Ⅱ	1		
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	中国語会話Ⅰ	1		
	中国語会話Ⅱ	1		
	日本語(語彙・読解)Ⅰ	1	4 単 位 以 上	(留学生用)
	日本語(語彙・読解)Ⅱ	1		(留学生用)
	日本語(作文)Ⅰ	1		(留学生用)
	日本語(作文)Ⅱ	1		(留学生用)
	日本語特講(語彙・読解)Ⅰ	1		(留学生用)
	日本語特講(語彙・読解)Ⅱ	1		(留学生用)
	日本語特講(文法・聴解)Ⅰ	1		(留学生用)
	日本語特講(文法・聴解)Ⅱ	1		(留学生用)
	日本語(上級作文)Ⅰ	1		(留学生用)
	日本語(上級作文)Ⅱ	1		(留学生用)
	キャリアデザインⅠ		2	
	キャリアデザインⅡ		2	
	キャリアディベロップメントⅠ		2	
	キャリアディベロップメントⅡ		2	
	キャリアスキルアップⅠ		2	
	キャリアスキルアップⅡ		2	
	キャリアビジネス実務Ⅰ		2	
	キャリアビジネス実務Ⅱ		2	
	インターンシップⅠ		2	
	インターンシップⅡ		2	
	サッカー		1	
	ソフトボール		1	
	卓球		1	
	テニス		1	
	バスケットボール		1	
	バドミントン		1	
	コーチング論		2	
	スポーツ心理学		2	
	スポーツ科学論		2	
	健康スポーツ演習		2	
	現代社会と哲学		2	
	現代社会と倫理		2	
	現代社会と宗教		2	
	日本の文学		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	現代社会と地理		2	

学則別表1 情報学部授業科目表 ページ2

学部・学科の名称	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	日本国憲法		2	
	現代社会入門		2	
	社会科学の考え方		2	
	日本人の労働を考える		2	
	税制から見る日本経済		2	
	アジアから見る世界経済		2	
	日本とアジア諸国との関係を考える		2	
	人間関係の心理学		2	
	認知行動の心理学		2	
	生活の中の数学		2	
	科学技術を考える		2	
	生活の中の物理		2	
	生活の中の化学		2	
	生命の科学		2	
	地球の科学		2	
	実験で学ぶ科学		2	
	科学の歴史		2	
	メディアを考える		2	
	奈良の文学と風土		2	
	奈良の歴史と伝統		2	
	環境を考える		2	
	人権を考える		2	
	地域社会を考える		2	
	特講(ボランティア論)		2	
	日本事情Ⅰ		2	(留学生用)
	日本事情Ⅱ		2	(留学生用)
	(専門教育等)			
	情報学基礎		2	
	情報学基礎演習		1	
	ウェブデザイン基礎		2	
	プログラミング入門		2	
	デジタル表現入門		2	
	情報物理		2	
	プログラミング基礎		2	
	プログラミング基礎演習		1	
	情報と倫理		2	
	情報と法		2	
	論文構成論		2	
	画像情報処理論		2	
	音情報処理論		2	
	ベンチャー企業論		2	
	ネットワーク基礎		2	
	ネットワーク基礎演習		1	
	オペレーティングシステム基礎		2	
	オペレーティングシステム基礎演習		1	
	コンピュータアーキテクチャ基礎		2	
	コンピュータアーキテクチャ基礎演習		1	
	アルゴリズムとデータ構造		2	
	アルゴリズムとデータ構造演習		1	
	情報数学Ⅰ		2	
	情報数学Ⅰ演習		1	
	情報数学Ⅱ		2	
	情報数学Ⅱ演習		1	
	コンピュータアーキテクチャ応用		2	
	オペレーティングシステム応用		2	
	ネットワークプログラミング		2	
	ネットワークプログラミング演習		1	

学部・学科の名称	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	ヒューマンコンピュータインタラクション		2	
	プログラミング応用		2	
	プログラミング応用演習		1	
	情報セキュリティ		2	
	ネットワーク応用		2	
	システム管理とメンテナンス		2	
	データベース基礎		2	
	データベース応用		2	
	データベース基礎演習		1	
	組込みシステム		2	
	ゲーム数理		2	
	知能システム		2	
	システムインテグレーション		2	
	ソフトウェア工学		2	
	ウェブシステム		2	
	ウェブデザイン		2	
	基礎デッサン		2	
	デッサン		2	
	デザイン基礎		2	
	マルチメディア表現		2	
	コンピュータグラフィック基礎		2	
	コンピュータグラフィック応用		2	
	DTP		2	
	映像技術		2	
	映像作品概論		2	
	コンテンツ構成論		2	
	オーディオデザイン論		2	
	映像制作Ⅰ		4	
	映像制作Ⅱ		4	
	映像制作Ⅲ		4	
	デジタルコンテンツ制作Ⅰ		4	
	デジタルコンテンツ制作Ⅱ		4	
	デジタルコンテンツ制作Ⅲ		4	
	デジタルアーキビスト概論		2	
	デジタルアーカイブ		2	
	文化情報システム		2	
	文化情報の管理と流通		2	
	メタ情報資源		2	
	情報学実験基礎Ⅰ		1	
	情報学実験基礎Ⅱ		1	
	情報学実験応用Ⅰ		1	
	情報学実験応用Ⅱ		1	
	情報学ゼミⅠA		2	
	情報学ゼミⅠB		2	
	情報学ゼミⅡA		2	
	情報学ゼミⅡB		2	
	情報学ゼミⅢ	4		
	情報学ゼミⅣ	4		
	プロジェクト演習Ⅰ		4	
	プロジェクト演習Ⅱ		4	
	プロジェクト演習Ⅲ		4	
	短期プロジェクト演習Ⅰ		2	
	短期プロジェクト演習Ⅱ		2	
	短期プロジェクト演習Ⅲ		2	
	短期プロジェクト演習Ⅳ		2	
	短期プロジェクト演習Ⅴ		2	
	短期プロジェクト演習Ⅵ		2	

6. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

■ 人間教育学部 人間教育学科 1年次生対象 [平成26年度(2014)入学生]

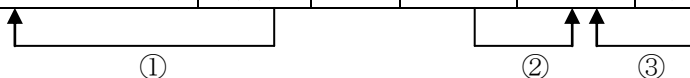
共通教育科目			専門科目							合計
必修	選択	小計	基礎		発展		演習実習		関連	
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	選択	
10	16	26	30		30		11			72
※上記単位数に加え、共通教育科目、専門科目及び関連科目のうちから26単位の修得が必要										124

■ 保健医療学部 看護学科 1年次生対象 [平成26年度(2014)入学生]

共通教育科目			専門基礎科目			専門科目			合計
必修	選択	小計	必修	選択	小計	必修	選択	小計	
10	15	25	21	3	24	72	4	76	125

■ ビジネス学部 ビジネス学科

共 通 教 育 科 目						専 門 教 育 科 目					合 計
導入 基礎	キャリア 形成	スポー ツ 関連	教養 教育	外国 語	小 計	専門 基礎	専門 科目	演習科目		小 計	
選択	選択	選択	選択	選択		選択	選択	選択	選択		
40				※4	44	*8	60	※4	8	80	124

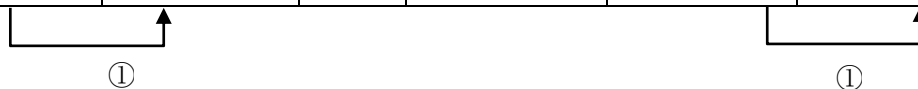


①、②、③・・・※欄で規定以上に修得した単位は矢印に示す区分に加えることができる。

■ 情報学部 情報学科

【システムコース卒業要件】

共通教育科目			専門教育科目				合計
外国語科目(必修)	その他選択	小計	情報学ゼミⅢ・Ⅳ(必修)	システムコース科目	その他選択	小計	
※4	40	44	8	※32	40	80	124



【メディアコース卒業要件】

共通教育科目			専門教育科目				合計
外国語科目(必修)	その他選択	小計	情報学ゼミⅢ・Ⅳ(必修)	メディアコース科目	その他選択	小計	
※4	40	44	8	※32	40	80	124



①・・・※欄で規定以上に修得した単位は矢印で示す区分に加えることができる。

7. 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

大学名	キャンパス	学部	所在地	主な交通手段
奈良学園大学	三郷 キャンパス	人間教育学部 ビジネス学部 情報学部	奈良県生駒郡三郷町立野北3丁目12番1号	JR「三郷駅」より徒歩約15分 JR「三郷駅」より「奈良学園大学」行きバス約3分
	登美ヶ丘 キャンパス	保健医療学部	奈良県奈良市中登美ヶ丘3丁目15番1号	近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘」駅から徒歩約10分 近鉄奈良線「学園前」駅から奈良交通バスで約9分「中登美ヶ丘四丁目」下車すぐ

*ビジネス学部、情報学部の2学部は平成26(2014)年4月から募集停止

奈良学園大学 三郷キャンパス

【キャンパスの概要】

館	使用目的	種類	面積 (㎡)	主要施設
1号館	講義棟	講義室	779.15	1階 (101・102・104教室) 2階 (201教室) 3階 (301・302教室)
		演習室	264.78	情報演習使用教室 1階 (103教室) 演習使用教室 2階 (プロジェクト室1～8)
		研究室	1,345.79	2階 (第1～18研究室) 3階 (第19～46研究室)
		事務室	160.20	事務局長室・総務課・経理課・入試課・広報課
2号館	学生厚生棟	食堂	669.54	1階 (カトル・セゾン)
		購買室	288.63	1階 (ヤマザキYショップ)
		談話室	145.03	2階 (国際交流室兼談話室)
		学友会関連室	232.31	3階 (学友会室・公認連合本部会室・資料室・ミーティング室)
		クラブ関連室		
5号館	講義棟	事務室	296.95	2階 (教務課・社会連携センター・学生支援センター・国際交流センター) 3階 (キャリアセンター)
		講義室	3,426.96	1階 (516教室) 2階 (521・522・525・527・529・5210～5215教室) 3階 (531～539・5311～5318教室)
		実習室	1,286.61	1階 (511教室 [和室]・512教室 [幼小接続室] 513教室 [理科室]・514教室 [調理室] 515教室 [被服室]・517教室 [図工室])
		PC教室	93.99	2階 (526教室)
		演習室	642.46	演習使用教室 1階 (演習室1・2) 2階 (演習室3～6) 3階 (演習室9・第12～17演習室)
5号館	講義棟	研究室	448.03	2階 (第65～78研究室) 3階 (第79～81研究室)

6号館	情報教育棟	PC教室	582.41	1階 (611教室) 2階 (621教室) 3階 (631・632教室)
		演習室	53.26	2階 (演習室1・2)
		研究室	69.29	3階 (第86～88研究室)
		事務室	25.76	情報センターシステム管理室
7号館	図書館	閲覧室	2,228.53	書棚・書籍検索パソコン席・閲覧 (学習) 席読書室・視聴覚室
		学習室	155.40	グループ学習室・研究個室
		書庫	375.72	地下1・2階 (集密書庫)
		事務室	119.73	図書館事務室・保管室
8号館	スポーツ交流 施設棟	スポーツ交流室	470.88	1階 (ミーティング室・トレーニング室) 2階 (ラウンジ・ロッカー室)
		事務室	28.80	スポーツ振興課・指導者控室
10号館	情報教育棟	講義室	610.32	2階 (1021教室・1022教室) 3階 (1033教室・討論室)
		実習室	381.21	1階 (1014教室 [スタジオ]) 2階 (個人レッスン室1～17・ピアノレッスン室1～3)
		PC教室	308.00	3階 (1031A/B・1032A/B教室)
		演習室	352.40	1階 (1011教室 [音楽演習室]・1012教室 [メディア演習室] プロジェクト室7) 2階 (プロジェクト室8)
		研究室	109.18	第112～116研究室

奈良学園大学 登美ヶ丘キャンパス

【キャンパスの概要】

館	使用目的	種類	面積 (㎡)	主要施設
1号館	講義棟	講義室	1,371.79	4階 (401～403・405～409教室) 5階 (504・505教室)
		実習室	143.56	2階 (造形教室)
		PC教室	301.87	5階 (501・502教室 [マルチメディア教室1・2])
		演習室	97.63	5階 (503教室)
		研究室	633.23	3階 (第1～31研究室)
		事務室	315.38	1階 (総務課・経理課・入試課・広報課・教務課・情報センター キャリアセンター・社会連携センター・学生支援センター)
2号館	講義棟 学生厚生棟	講義室	1,468.40	4階 (2401～2407教室) 5階 (2501・2502教室)
		実習室	936.48	3階 (地域・在宅・老年看護学自習室／基礎・成人看護学実習室 母性・小児看護学自習室／助産実習室)
		演習室	427.74	5階 (演習室1～10)
		図書室	732.74	1階 (開架書架・集密書架・図書準備室) 2階 (開架書架・学習室1・学習室2)
		食堂	443.57	2階

8. 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

大 学 名	学 部	入 学 金		授 業 料		(その他の費用) 教 育 充 実 費	
		金 額	納入時期	金 額	納入時期	金 額	納入時期
奈良学園大学	人間教育学部	¥300,000	入学時 (入学試験毎)	【前期】			
				¥425,000	4月20日	¥160,000	4月20日
				【後期】			
				¥425,000	10月20日	¥160,000	10月20日
	保健医療学部	¥300,000	入学時 (入学試験毎)	【前期】			
				¥425,000	4月20日	¥325,000	4月20日
				【後期】			
				¥425,000	10月20日	¥325,000	10月20日
	ビジネス学部	¥300,000	入学時 (入学試験毎)	【前期】			
				¥311,000	4月20日	¥132,500	4月20日
				【後期】			
				¥311,000	10月20日	¥132,500	10月20日
	情報学部	¥300,000	入学時 (入学試験毎)	【前期】			
				¥311,000	4月20日	¥157,500	4月20日
				【後期】			
				¥311,000	10月20日	¥157,500	10月20日
	学部共通	【奨学金給付制度の概要】					
・奈良学園大学の給付型奨学金制度 一般学生奨学金 スポーツ学生奨学金 私費外国人留学生奨学金 学園内進学者奨学金 家計急変時支援奨学金 課外活動奨励奨学金 留学支援奨励奨学金 放送大学受講学生奨励金							

※主な諸会費(年額)：後援会費20,000円、学友会費5,000円

*編入学定員を設けていないが、若干名の受け入れを行っている

*ビジネス学部、情報学部の2学部は平成26(2014)年4月から募集停止

9. 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

< 学生支援組織 >

項目	組織等	機能
キャリア支援 就職支援	キャリアセンター	資格講座開講、リメディアル教育等 就職指導進路情報の調査、収集、整備及び保管 求人先の開拓及び連絡 就職の斡旋 進路指導（ガイダンス・各種就職関連セミナーの実施、個人面談・相談）
進学支援	キャリアセンター	進学先情報の調査、収集、整備及び保管
履修支援	教員及び教務課	入学時及び年度当初の履修登録の際に教員はサポートし、教務課は窓口で対応する。
生活支援（住居、アルバイト等）	学生支援センター	住居、アルバイト情報の収集、保管、相談及び紹介
経済支援		日本学生支援機構奨学金の相談、各種手続き 奈良学園大学奨学金の相談、手続き
保健・衛生・メンタルヘルス等の健康支援と学生の福利厚生		学生の「心・身体・学び」を支援 分野を横断した幅広い学生相談、健康診断及び保健衛生相談および快適な学び環境の支援

＜奈良学園大学 奨学金＞

規程	対象学生	種類	型	入学金		授業料				教育充実費				その他
				半額	全額	1/4	半額	3/4	全額	1/4	半額	3/4	全額	
奈良学園大学奨学金規程	一般学生で学業成績優秀者 入試成績優秀者	一般学生奨学金	I 型	※①					○				○	
			II 型	※①				○				○		
			III 型	※①			○				○			
			IV 型	※①		○				○				
			V 型	※①										※②
奈良学園大学スポーツ学生奨学金規程	スポーツ等課外活動を行う学生	スポーツ学生奨学金	I 型		※③				○				○	
			II 型		※③			○				○		
			III 型		※③		○				○			
			IV 型		※③	○				○				
			V 型		※③									※②
奈良学園大学私費外国人留学生奨学金規程	私費外国人留学生	私費外国人留学生奨学金	I 型	※①					○				○	
			II 型	※①				○				○		
			III 型	※①			○				○			
			IV 型	※①		○				○				
			V 型	※①										※②
奈良学園大学における奈良学園内進学者に対する奨励金内規	学園内進学者	内部進学者奨学金			○									※③
奈良学園大学家計急変時支援奨学金規程	家計急変のため学業継続に支援を必要とする学生	家計急変時支援奨学金												※④
奈良学園大学課外活動奨励金規程	学長が認める課外活動等を行う学生	課外活動奨励奨学金												※⑤
奈良学園大学留学支援奨励金規程	学長が認める海外留学等を行う学生	留学支援奨励奨学金												※⑥
奈良学園大学における放送大学開講科目受講者に対する奨励金内規	放送大学受講生	放送大学受講生奨励金												※⑦

※① 入学金の2分の1以内の額を給付することがある。

※② 学長が定めた額を給付する。

※③ 入学金の全額を給付することがある。

※④ 在籍中1回限りで年額30万円以内を給付する。給付期間は最大1年間。

※⑤ 10万円以内を給付する。

※⑥ 10万円以内を給付する。

※⑦ 放送大学の開講する授業科目を受講するために必要な授業料1科目（2単位）11,000円の2分の1の額を、2科目（4単位）分を上限として単位修得の確認後に給付する。

＜日本学生支援機構 奨学金＞

国などからの借入と卒業した奨学生からの返還金により成り立っている貸与型の奨学金制度

● 奨学金の種類

① 第一種奨学金（無利子）

人物・学業ともに特に優れ、経済的理由により著しく修学に困難な者に貸与することができます。

② 第二種奨学金（有利子で年3%を上限とする変動金利）

人物・学業ともに優れ経済的理由により著しく修学に困難な者に貸与することができます。

● 申請時期

- ・ 予約採用・・・高校時に申し込み
- ・ 定期採用・・・毎年4月（平成26年度分は受付終了） ※全学年対象
- ・ 随時・・・ 緊急採用（第一種）、応急採用（第二種）

主たる家計支持者の失職・死亡または災害等による家計急変のため、緊急に奨学金の貸与が必要になった場合は、緊急採用（第一種）・応急採用（第二種）がありますので、学生支援センターへご相談ください。

● 貸与月額（平成 26 年度採用者の場合）

		第一種（無利子）	第二種（有利子）
学部生	自宅通学	54,000 (30,000 選択可)	30,000、50,000、80,000 100,000、120,000 から選択
	自宅外通学	64,000 (30,000 選択可)	

10. 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

人間教育学部

人間教育学部は、人間力・教育力・実践力を備えた小学校教員を養成することを第一の目的にしている。さらに小学校に接続する幼稚園教諭、または中学校・高等学校の国語の教諭を養成することも目的としている。そのために以下のような特徴ある教育課程を編成している。

（1）大学生活への適応と支援

入学時に基礎ゼミナールを中心として、学内・学外オリエンテーションを行い、大学に早期に適応できるように、学習面や生活面で個人指導を重視し、少人数のクラス担任制を取り入れている。1 年次 5 月には全員面談を行い、個々の学生の進路も含め、高校から大学への段差の解消に努めている。個々の学生の動向を、学部全教員が教授会や連絡会等で共通理解し、さらに学力的に不十分な点は個人補習を実施し、特に数学の基礎力をつけている。また、入学後 2 か月経過した時期に、学生の出身校と保護者に、大学生活の様子を手紙でお知らせし、保護者と連携した初年次教育を目指している。

大学の学習のルールと規律の徹底化を図り、すべての授業で、授業開始と終了時に全員が起立して挨拶を行っている。また、授業中に課題を与え提出を必ず全員に求めるなど、学習や苦手なことから逃げずに忍耐強く取り組む原則姿勢を身につけている。

講義では、1 年次で初等と中等の両方の教職入門や教育原理や教育心理を設置し、自分自身の進路を考える機会としている。さらに全国で唯一の人間教育学の授業を実施し、個人としてまた社会人としての、今後の生き方について考えさせる場を設けている。

（2）コミュニケーション力育成

1・2 年次と 2 年間を通し、国語の「話す・聞く・読む・書く」の 4 分野の言語力を取得するため、60 コマの「教職表現力演習」の授業を少人数で習熟度別に展開している。学んだ成果を試すための「スピーチコンテスト」「私の天声人語」等のイベントを実施し、長期間に及ぶ授業を個々の学生が目標を持って取り組める工夫を行っている。表現場面では、自己評価や相互評価を取り入れ、目標を意識した評価ができる学生を養成している。各授業でも、座学だけでなく活動したことを振り返り書くということを重視した教員と学生の相互交流のある授業を盛んに行っている。これらの振り返り活動を通して、授業は PDAC というサイクルで行われることを体感している。

これは上位年次に課せられるレポートや論文の書き方を学ぶことを目的としているとともに、教師として児童・生徒の前に立つ際の基本的なコミュニケーションの基礎の養成と定着を図るものである。また、教育は保護者や地域の人々との連携がなくしては成立しないものなので、そのツールとしての重要な役割も果たすものである。

（3）学校に役立つ実践力の育成

1 年次から 4 年次まで「人間教育実践力開発演習」が教育課程内に位置づけられている。この科目は、学校に学生が外向き実際の教育活動への指導補助を通して、教員の仕事の意味や子ども理解の方法

等を学ぶことを目的としている。1 年次からのこの体験学習を通して、3 年次で 4 週間の小学校教育実習に全員の学生が出かける。教育実習前の事前準備として学校の様子に慣れ親しむため、学生は教育実習に当たり精神的な不安感を減少させ意欲的に実習に取り組むことができる。

（４）各教科指導の模擬授業

2 年次から 3 年次にかけて、各教科指導法の学習の多くが実施される。教科指導法は約 40 人を 1 クラスとして全員が模擬授業を担当するようになる。模擬授業では、教材解釈から始まり板書や指導案の書き方も含め、学生が教師役と児童・生徒役等にわかれ、お互いの授業を評価し改善し合う。実際の授業においては、児童・生徒の発達段階に応じた好ましい学級経営が不可欠である。そのため、学習心理学や発達心理学の授業を通して、発達段階に応じた言葉がけや、児童生徒一人ひとりへの対応方法を学ぶとともに、授業の方法技術を向上させることを狙いとする。

また、各教科以外の学校教育で必要な課題教育の講義も多く設定しているので、各教科の学習と関連付けながら教員志望者としての人間の幅を広げることが可能である。

（５）出口を意識したキャリア教育の実施

1 年次から 4 年次までキャリア教育を実施している。キャリア教育の時間は 1 年次からスーツを着用して授業を受けたり、少人数に分かれて自己分析をしたり、卒業後の進路を強く意識付けしている。3 年次からは、卒業後の進路別の授業となる。大きくは教員志望者とその他の企業志望者とに分かれ、さらに教員志望は幼稚園・小学校・中学校・高等学校に分かれ、その他の企業は、一般公務員、民間企業等に分かれる。これらの進路に合わせた細かい課外講座を準備している。課外講座は希望制であるが、出欠についても専門ゼミナールの担任を通して指導をする。専門ゼミナールの教員は各自の卒業論文の指導はもちろん、社会人としての常識的なマナーや振る舞いをできるように指導をする。

保健医療学部

<建学の精神>

高度な専門学術知識に裏付けられた実践力を有する有能な人材を教育・養成し、地域社会及び社会全体の発達・発展に貢献する。

<教育理念>

現実に立脚した学術の研究と教育を通じて、明日の社会を開く学識と実務能力を兼ね備えた指導的人材の育成を目指し、時代の進展に対応し得る広い視野と創造性をつちかい、誠実にして協調性のある心身ともに豊かでたくましい実践力を持った人材を養成する。

<教育目標>

幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力などをそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者の育成を目的とする。

<ポリシー>

（１）アドミッションポリシー

人と自然を愛する心を持ち、看護職に興味・関心のある人。また、確かな基礎的学力を有し、看護職者に必要な知識・技術を積極的に学び、地域社会、国際社会に貢献する意欲のある人。

（２）カリキュラムポリシー

- ① 豊かな人間性、論理的な思考力、的確な判断能力を身につける教育
- ② 自然や文化を大切にし、倫理性、社会性、国際的感覚を身につける教育
- ③ 主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、それを豊かに表現する能力を身につける教育
- ④ 看護職に必要な高度な知識・技術、情報活用能力、コミュニケーション能力を身につける教育

- ⑤全人的な健康観に立ち、科学的、客観的な根拠（エビデンス）と、人間の主観性や固有の感性、人間関係を大切にする対話に基づき、探求心と想像力をもって、創造的な全人的ケアの実践ができる能力を身につける教育

（3）ディプロマポリシー

- ①国際的な視点を持ち、幅広い教養と豊かな人間性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力を有することができる。
- ②看護職として個別的で多様な保健医療ニーズに倫理的配慮をもって応えることができる。
- ③人間愛に基づき「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、協調性などを備え、主体的に全人的ケアができる。
- ④学際性を培い、専門性を発揮しながら他職種と連携・協働し、チーム医療を推進することにより社会に貢献できる。

ビジネス学部

ビジネス学部の教育内容・方法の特長は、初年次教育を重視するとともに、ビジネス学に相応しい専門教育の充実を目指して、現代社会の流れを読みとり時代の要請に応えた実践型と座学型の2タイプの「プロジェクト演習」を展開していることにある。その際、少人数での授業や演習の充実を通じて、個々の学生の能力や志向に応じた教育指導を行うことで専門的な知識・技術の向上を目指している。

（1）初年次教育の重視

1年次において、入学時に学内・学外オリエンテーションを含めた集中導入期間を設け、スムーズに大学生活に適應できるように教務面だけでなく日常生活面も含めた総合的な観点から学生を指導している。この1年次4月当初の短期の集中導入期間を経て、通常授業形態で、前期において「導入演習」が続行される。この演習は、学習姿勢や生活態度において、高校生から大学生へスムーズに移行していくこと、具体的には大学での学習に必要な知的スキルを身につけることを目的としている。後期においては「基礎演習」を設けている。これは、上位学年で課されるレポートを書くための基本ルールを修得することを目的とする。各人が自らの調査や研究の成果、それに基づく自分の評価・意見をまとめたレポートの書き方を学ぶことを趣旨とする演習である。1年次の演習は4カ年の大学生活を充実させるための準備期間であると捉えている。この認識を学部教員が共有し、その目的を達成するシステムとして、少人数クラスの演習を学部教員が担当する「アドバイザー制」を採用している。

通常の講義に関しては、1年次から幅広い教養及び社会人としての基礎力の修得並びに複雑なビジネス事象を理解するために必要な複眼的思考の修得・訓練を目標とした科目が開講されている。

前者に該当するのが、例えば「導入基礎科目」（「日本語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」及び「ITリテラシーⅠ・Ⅱ」）、実践的な語学力の訓練・修得を視野に入れて開講されている「外国語科目」、そして幅広い教養と豊かな人間性を有した人材の育成に資することを目的とする「教養教育科目」、さらには「キャリア形成科目」「スポーツ関連科目」が配当されている。

またビジネス学部の専門科目としては、「専門基礎科目」として、「管理の仕組みとビジネス」「マーケティングの仕組みとビジネス」「簿記の仕組みとビジネス」「法の仕組みとビジネス」「政治の仕組みとビジネス」及び「経済の仕組みとビジネス」が開講されている。上記の「導入演習」「基礎演習」「導入基礎科目」とともに「専門基礎科目」については、本学部担当教員が執筆した独自のテキストを作成して全学生に配布し教材として使用している。これらの教材は、当該科目担当教員が個々に作成するだけではなく、学部内に組織された「1年次教育・テキスト作成委員会」で全体的な観点から検討し見直しが行われ必要に応じて改訂されている。

（2）卒業後の進路を見据えた4つのコース制

本学部では、卒業後の進路を見据えたカリキュラムの構造化の徹底を図っている。学生は、2年次からの専門科目の履修において経営コース、マーケティングコース、会計コース、公務員コースのいずれかを選択することになる。各コースとも専門科目を2年次配当の基幹科目と3年次配当の発展科目に区分し、卒業後の具体的な職種・業種に進むために必要とされる高度な知的訓練をするように体系化されている。卒業後に想定される進路とそれに相当する専門科目の組合せを例示するなら、経営コースでは例えば自営業、企業の総務部門などを想定した「経営管理論」「経営組織論」など、マーケティングコースでは例えば企業の営業部門、販売士などを想定した

「マーケティング論」「消費者行動論」など、会計コースでは例えば金融機関、税理士などを想定した「会計学原理」「財務諸表論」など、公務員コースでは国家・地方公務員などを想定した「憲法」「政治原論」などを学習することで、それぞれの職種・業種において必要とされる専門的な知識やスキルを修得するようなカリキュラム構造になっている。また、それぞれのコースに関連する専門的知識や社会において必要とされる専門的な技術や知識、それに応用力を学ぶ機会を設けている。このように、学生は、将来の進路・目的にそった形で、ビジネス学部が提供する4つのコースのいずれかを選択できるようになっている。

本学部では、上記の4つのコースでの専門科目を修得するだけでなく、さらに具体的に資格取得を希望する学生に対して支援する制度も設けている。この制度が専門職養成支援プログラムである。このプログラムでは、例えば税理士、消費生活アドバイザーなどの資格取得のための支援体制を整えており、学生が資格を取得して卒業後の具体的な進路を目指す支援を行っている。

(3) 実践型と座学型の「プロジェクト演習」の展開

本学部では、1年次から4年次までの4カ年（8セメスター）にわたって、アドバイザーが担当する演習科目を開講している。1年次の「導入演習」「基礎演習」に続き、2年次には実践型の「プレ・プロジェクト演習」と座学型の「総合演習」をそれぞれ半期ずつ受講し両演習を修得することになる。さらに3・4年次においては、学生が自ら選択した、実践型と座学型のいずれかの専門的な知識や技術に特化した「プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ」を修得する。その意味で、2年次の半期ごとの2種類の演習は、3・4年次の「プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ」とは内容上としては必ずしも連続したものではないものの、各学生がより専門的な演習を選択する際に、自らがどのタイプの演習に向いているかを選ぶ判断基準となる。

3・4年次の「プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ」は、第5セメスターから第8セメスターまでの演習である。3・4年次の「プロジェクト演習」において、様々な専門的なテーマに取り組むことができるようになっている。そのことによって、各自が選択したテーマを最終学期に結実させることができる。すなわち、座学型の「プロジェクト演習」では、学生はすでに学習した特定の専門分野の知識を問題解決に応用できるように復習し、さらにより発展した専門知識を新たに学習する場とすることによって、自律した社会人として必要な基礎能力を養成することができる。その学習成果が卒業論文等である。また実践型の「プロジェクト演習」では、学生はその企画段階から関わることによって、演習でのプロジェクトの遂行過程で生じる課題に対応せざるをなくなり、その結果、演習に参加する学生は、現実のビジネスの世界で必要となる、様々な企画、理解、対応、処理、解決などの能力を養うことができるようになる。その結実が成果報告会における成果報告である。

情報学部

情報学部は、システムコースとメディアコースの2コース制となっている。その教育内容および教育方法の特色は、2コースとも1年次から4年次までの間で徐々に専門性を高めていくことができるように、段階的に専門化を進めたゼミや講義・演習科目を各年次に配置していること、ならびに、講義による専門的な知識の習得とゼミ・演習・実験による知識・技能の体得を組み合わせた実践力を養うカリキュラムを整備していることにある。

(1) 段階的な専門化

システム・コースとメディア・コースの2コース制を採用しているが、1年次ではコースを分けず、入門的な専門科目「学部共通科目」を中心に履修させることで、専門分野に進むための準備を入念に行なうようにし、2年次に進級する段階でいずれかのコースを選択し、履修モデルに従って専門科目の選択を行なう。

担当教員がアドバイザーとなるゼミは、1年次から4年次までの各学年に設定されている。1年次前期の「情報学ゼミⅠA」では、大学4年間における勉学の基礎となるスタディー・スキルを習得し、1年次後期の「情報学ゼミⅠB」では二つのコースに関連した複数のテーマのもとで入門的な演習に取り組む。この演習を通して各自の適性を判断し、2年次進級段階でのコース選択へとつなげていく。それとともに、実践力を養うための体験型学習の一環として、1年次に「情報学実験基礎」、2年次に「情報学実験応用」を設け、様々な実験に取り組む中で実験方法や機器の取り扱い、実験結果のまとめ方などを体験的に学べるようにしている。2年次のゼミは、前期の「情報学ゼミⅡA」および後期の「情報学ゼミⅡB」において、コースごとに設定された複数のテーマが用意されており、学生はその中からテーマを選択して半期にわたって演習を体験する。この2年次のゼミを通して研究テーマをひとつに絞り、3年次の「情報学ゼミⅢ」および4年次の「情報学ゼミⅣ」の2年間、同じ担当

教員のもとで専門的な研究活動に取り組む。この研究成果は、卒業論文または卒業制作の形でまとめるとともに、4 年次末に卒業研究発表を行なう。

2 年次以上のカリキュラムの体系は、専門科目を中心に講義科目と演習科目を密に連携させ、システムコースでは、基礎科目から応用科目へステップアップしていくよう配置し、演習による実体験を通して、講義で学んだ知識を確固たる知識・技能として身に付けられるようにしている。メディアコースでは、3 年次以上は各科目とも演習に中心を置き、スキルの上達をはかっている。

学生個々人の卒業研究、卒業制作へとつなげていく「情報学ゼミ」と並行して、学生主体のグループ学習の場である「プロジェクト演習」も開講されている。この「プロジェクト演習」では、2 年次生から 4 年次生までが役割を分担しつつ、各プロジェクトのテーマに沿った課題を共同で進めていく。この演習を通して、学生による活動計画の立案や活動の推進、学生間の助け合いや上級生による指導など、グループ作業における様々な役割を体験することが出来る。

なお、本年度の 5 年次生（平成 22 年度入学）以上は、現カリキュラムの前の旧カリキュラムによる授業となっているが、基本的な教育の内容、方法に大きな違いはない。旧カリキュラムでは、三分野（情報システム分野、メディア・アート分野、社会情報システム分野）による緩やかな専門科目の区分構成であったのを、より学生の学ぶ領域と専門性を明確にしたコース制に改めたものである。

（2）学習環境の充実

情報学部では、学部開設当初から学生全員にノートパソコンを貸与している。また、平成 23 年度からは携帯端末として iPod touch の貸与も開始した。こうした情報機器は、様々な講義・演習の中で学生個々の情報端末として利用されているほか、教員や他学生との情報交換に活用されている。情報学部棟内の各教室に加え、大学構内の各所に有線 LAN や無線 LAN の接続ポイントが設置されており、各自のノートパソコンや携帯端末からインターネットに接続可能な環境が整備されている。また、情報学部棟内にある複数の PC 教室には基本的なオフィスツールのほか、ソフトウェアの開発環境、画像処理やイラスト制作のツール、映像編集ソフトなどがインストールされており、時間割を工夫することによって学生が随時利用できるようになっている。このように常にコンピュータや様々なソフトウェアに接することができる学習環境を提供することによって、学生の学習意欲を支え、学習機会を増進させている。

情報学部棟にはプロジェクト室が計 8 部屋あり、所属ゼミに応じて学生に割り当てられている。プロジェクト室は、ゼミ活動のほか、授業時間外での自習室としても利用されている。さらに、平成 23 年度には情報学部棟が増築され、吹き抜けの第二スタジオが完成した。第二スタジオには、クロマキー処理による最新の映像合成機器や 3D 映像制作システムが導入され、より幅広い表現技術を実験し、表現力を養うことができるようになっている。

（3）専門教育高度化のための支援

専門教育で学んだ知識や技能の習得状況を確認すること、または、習得を促進させることを目的として、「プロジェクト演習」等を通じた基本情報技術者試験や準デジタル・アーキビストなどの資格取得を推進している。特に、基本情報技術者試験に関しては、課外時間に資格取得講座を開設し、本学の専任教員が定常的に試験対策の指導を行なうとともに、携帯端末で自主学習できるソフトウェアを導入したり、専門学校との資格試験模試を取り入れたりすることによって、継続的かつ効果的な試験勉強に取り組めるようにしている。

学習意欲の高い学生に対しては、「特別選抜クラス」を編成し、課外活動として、より高度な大学教育を受ける場を用意している。1 年次の段階では、高度な専門教育を受ける能力を養うために、国語、英語、数学の基礎科目の修得を入念に行ない、その成果を TOEIC 等の資格試験で確認している。2 年次以降、専門教育に関わる複合的かつ実践的な課題にも取り組んでゆき、最終的にシステム・コース専攻の学生は学会発表を行なうことができる能力、メディア・コース専攻の学生はコンテストに入賞できる能力の修得を目指す。